

# ILLUST STUDIO

COLOR PAINTING AND ILLUSTRATION TOOL

[イラストスタジオ]

## STARTUP GUIDE

[スタートアップガイド]



## 本書をお読みになる前に

IllustStudio をご利用いただき、ありがとうございます。本書をお読みになる前に注意していただきたい点などについて説明いたします。

### 本書の表記について

本書（データである場合も含む）は、2010 年 12 月現在の製品プログラムをもとに執筆・編集されており、実際の製品プログラムの仕様と異なる場合があります。

### 記号について

本書では、操作に関連する事柄について記号を用いて解説しています。記号には、次のような意味があります。



IllustStudio の操作を行ううえで、間違いやすい項目や、気をつけるべきことを記載しています。



IllustStudio の操作を行ううえで、操作の参考になることや補足説明などを記載しています。

### 商標および著作権について

- CELSYS、IllustStudio、CLIP は、株式会社セルシスの商標または登録商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標です。
- QR コード® は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、記載されております会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書（データである場合も含む）は、法律の定めのある場合または権利者の承諾のある場合を除き、いかなる方法においても複製・複写することはできません。

# 目次

本書をお読みになる前に .....	2
本書の表記について .....	2
記号について .....	2
商標および著作権について .....	2
IllustStudio でイラストを描いてみよう .....	5
IllustStudio でできること .....	6
手描きの自然なタッチを再現 .....	6
デジタルならではの彩色 .....	6
表現を拡げるための豊富な機能 .....	7
イラスト制作前の準備 .....	8
起動と終了 .....	8
IllustStudio の画面設定 .....	9
イラストを制作するには .....	10
イラスト制作の流れ .....	10
下描きを描く .....	11
ラフを描く .....	11
下描きを描く .....	14
Tips：キャンバスの操作 .....	16
Tips：ツールの操作 .....	19
ペン入れ .....	20
ペン入れ .....	20
下塗り .....	22
線画を参照レイヤーに設定する .....	22
下塗り用のレイヤーを用意する .....	23
塗りつぶしツールで着色する .....	23
閉領域フィルツールで細部を着色する .....	26
レイヤーを整理する .....	28
仕上げ .....	30
影とハイライトを入れる .....	30
肌に赤みを入れる .....	32
背景を入れる .....	33
ホワイトを入れる .....	35
IllustStudio の主な機能 .....	37
カスタマイズ .....	38
IllustStudio の画面 .....	38
リブパレット表示 .....	39
ドックのカスタマイズ .....	41
Tips：環境設定を使用したカスタマイズ .....	43
ワークスペース .....	44
ツールバーのカスタマイズ .....	44
ツールパレットのカスタマイズ .....	44
ペン・ブラシ .....	45
ペントール .....	45
水彩ツール .....	47

パターンブラシ .....	48
<b>範囲選択 .....</b>	<b>50</b>
複数参照 .....	50
クイックマスク .....	51
選択範囲レイヤー .....	51
<b>定規 .....</b>	<b>52</b>
定規の種類 .....	52
<b>塗りつぶし .....</b>	<b>54</b>
塗りつぶしツール .....	54
等高線塗りツール .....	55
<b>フィルタレイヤー .....</b>	<b>56</b>
フィルタレイヤー .....	56
<b>素材 .....</b>	<b>57</b>
パターントーン .....	57
<b>色の選択 .....</b>	<b>59</b>
カラー系パレット .....	59
サブビューパレット .....	60
画面の色を取得 .....	61
<b>3D 下描き機能 .....</b>	<b>61</b>
3D 下描き機能 .....	61
<b>CMYK 対応 .....</b>	<b>62</b>
CMYK カラー表示 .....	62
<b>動画キャプチャ機能 .....</b>	<b>62</b>
キャプチャ .....	62
<b>サービスとサポートのご案内 .....</b>	<b>63</b>
お問い合わせの前に .....	<b>64</b>
IllustStudio.net .....	64
CLIP「学ぶ」 .....	64
IllustStudio サポート情報 .....	64
製品に関するお問い合わせ .....	<b>65</b>
お問い合わせ前のご確認 .....	65
お問い合わせ窓口 .....	65



# IllustStudio で イラストを 描いてみよう

ここでは、IllustStudio で描いたイラストの紹介や、IllustStudio を使用した基本的なイラスト制作の方法について説明します。

## IllustStudio でできること

IllustStudio とは、カラーイラストを描くためのアプリケーションです。ここでは、実際に IllustStudio で描いたイラストを例に、どんなことができるのか簡単に紹介します。

### 手描きの自然なタッチを再現

自然なタッチのペンツールと、表現力豊かなブラシツールを使用して、ペン、鉛筆、水彩など、手描きのタッチを再現したイラストを描画できます。



[鉛筆] ツール・[水彩] ツールを使用した水彩画風



[ペン] ツールを使用した線画

### デジタルならではの彩色

IllustStudio は、手描きのタッチを再現するだけではありません。ワンクリックでの塗りつぶしや、グラデーションの作成、イラストに効果をつける各種フィルタなど、デジタルの良さを活かした機能も豊富にそろえています。



グラデーションを使用したアニメ塗り風



フィルタやブラシを使用した CG 塗り風

## 表現を拓げるための豊富な機能

IllustStudio の各種ツールは、設定次第でさまざまな描画ができます。慣れてきたら、設定を変更してみたり、塗り方を変えてみたりなど、いろいろ試してみましょう。IllustStudio はカラーイラスト制作の表現を拓げるお手伝いをします。



厚塗りの油彩風



重ね塗りの水彩画風

## イラスト制作前の準備

IllustStudio でイラストを描画する前に、IllustStudio を起動して、画面の設定をします。

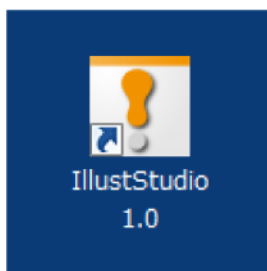
### 起動と終了

IllustStudio の起動方法と終了方法について、説明します。

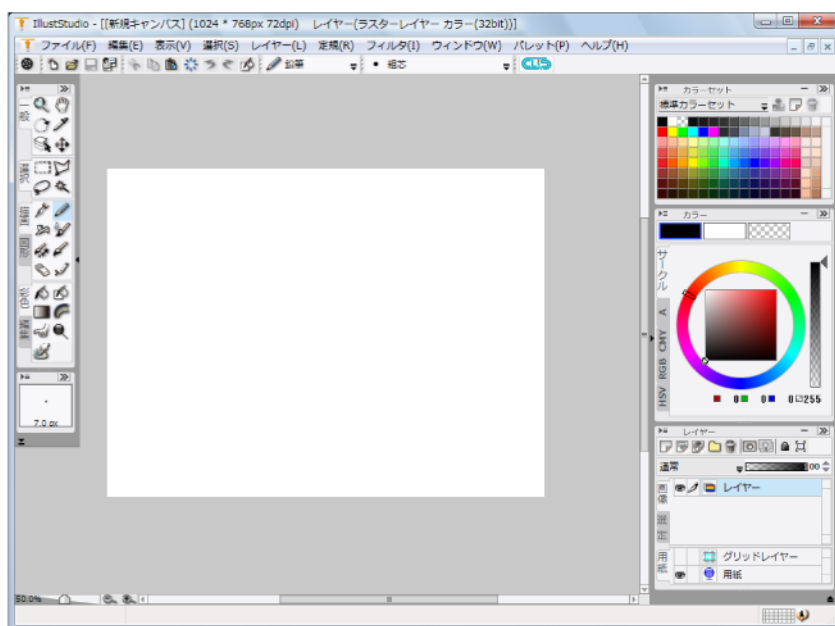
#### 起動

IllustStudio を起動します。

- 1 デスクトップのアイコンをダブルクリックします。



IllustStudio が起動します。



- Windows の [ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [ IllustStudio ] の順に選択しても、起動できます。
- [ 筆圧検知レベルの調節 ] ダイアログが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。詳しくはユーザーガイドを参照してください。
- [ シリアルナンバーの入力 ] ダイアログが表示された場合は、インストールガイドを参照してください。



IllustStudio の作業中に不具合などがあった場合、設定を初期化して起動できます。[Shift] キーを押しながら、デスクトップのアイコンをダブルクリックすると、初期化する項目を選択する画面が表示されます。項目を選択し、[OK] をクリックすると、初期化起動されます。初期化を選択した項目については、設定が消去され、インストール直後の状態に戻ります。

## 終了

IllustStudio を終了します。

### 1 [ファイル]メニュー→[終了]を選択します。

IllustStudio が終了します。



アプリケーションの [閉じる] ボタンをクリックしても、IllustStudio を終了できます。

## IllustStudio の画面設定

IllustStudio のウィンドウレイアウトを選択します。

### 1 [ウィンドウ]メニュー→[ウィンドウレイアウトを再選択]を選択します。

[ウィンドウレイアウトの再選択] ダイアログが表示されます。

### 2 使用するレイアウトを選択し、[OK] をクリックします。ここでは、左列の上から 2 つ目のレイアウトを選択します。

これ以降の手順は、左列の上から 2 つ目のレイアウトをもとに説明します。



- 初回起動時に選択した IllustStudio のウィンドウレイアウトは、再度選択し直せます。
- 各レイアウトのボタンをクリックして選択すると、ダイアログの下部にレイアウトの説明が表示されます。こちらを参照のうえ、用途に応じたレイアウトを選択してください。

### 3 確認のメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックします。

## イラストを制作するには

IllustStudio でイラストを制作するための、基本的な作業の流れについて紹介します。

### イラスト制作の流れ

ここでは、IllustStudio を使用して、次の流れでイラストを制作します。

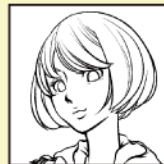
#### 下描き

イラストのレイアウトや人物のポーズを決めるために「ラフ」を描き、ラフをもとに「下描き」を描画します。



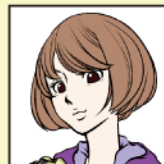
#### ペン入れ

「下描き」をもとに [ペン] ツールで線画を清書します。



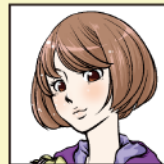
#### 下塗り

パーツごとのレイヤーを作成し、線画におおまかな色を着色します。



#### 仕上げ

イラストに影やハイライトをつけて立体的にします。  
ここで、背景も作成します。



ここで説明する作業の流れは、イラストの制作方法の一例です。IllustStudio の操作に慣れてきたら、お好みの制作方法でご使用ください。



本書で説明する作例の制作過程を、ランチャー画面から動画でご覧いただけます。ランチャー画面が表示されたら、[STARTUP GUIDE MOVIE] をクリックします。

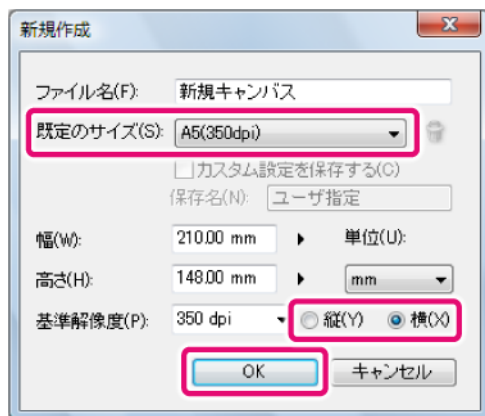
## 下描きを描く

まず、全体的なイメージをつかむためにラフを描画し、ラフから線を整えていくように下描きを描画します。

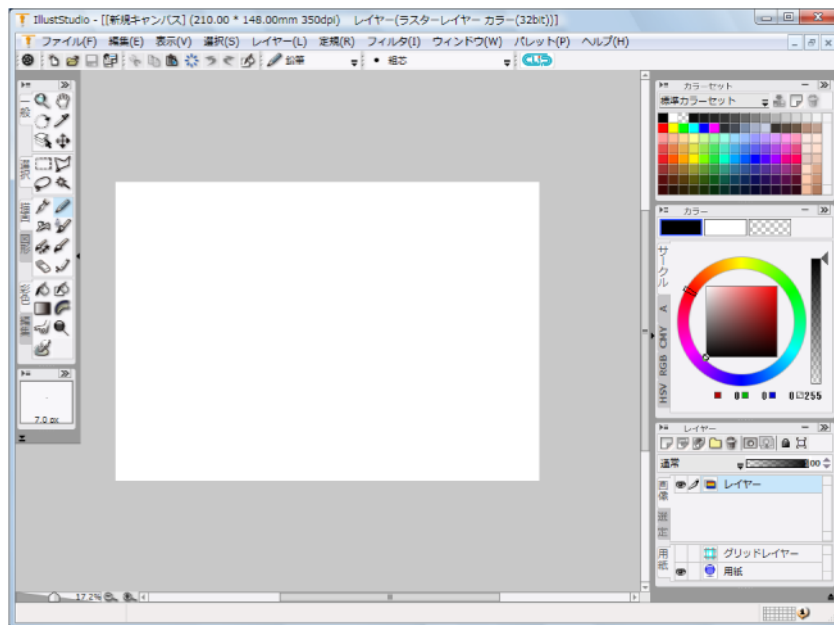
### ラフを描く

イラストのレイアウトや人物のポーズなどを決めるためにラフを描きます。

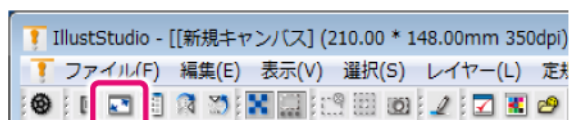
- 1 [ファイル]メニュー→[新規作成]を選択します。  
[新規作成]ダイアログが表示されます。
- 2 [新規作成]ダイアログでファイル名と画像のサイズや解像度を設定し、[OK]をクリックします。ここでは[既定のサイズ]から[A5(350dpi)]、画像の向きで[横]を選択します。



キャンバスが作成されます。

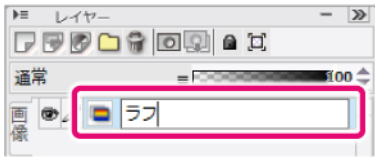


- 3 ツールバーの[全体表示]をクリックして、キャンバスを全体表示にします。





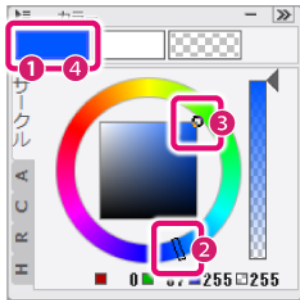
#### 4 [レイヤー] パレットでレイヤー名をダブルクリックし、「ラフ」と入力します。



#### 5 [ツール] パレットから [鉛筆] ツールを選択します。



#### 6 [カラー] パレットから色を選択します。



- ① [メインカラー] をクリックします。
- ② [カラーサークル] のリングでおおまかな色（色相）をクリックします。
- ③ [カラーサークル] 中央の四角形から詳細な色をクリックします。ここでは明度（または輝度）・彩度を調整できます。
- ④ [メインカラー] に手順②～③で選択した色が反映されたことを確認します。



ラフに使用する色は黒以外の薄めの色で描画すると、主線を入れる際に区別がつけやすくなります。

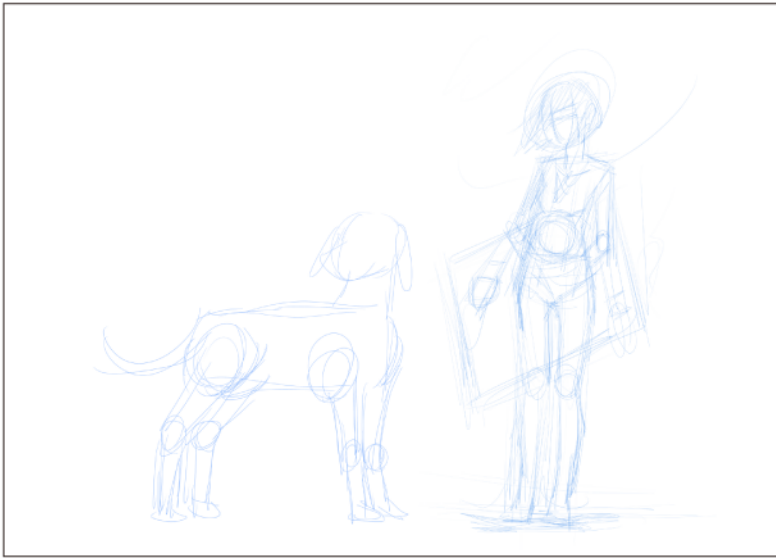
#### 7 [鉛筆] ツールで、キャンバス上をドラッグし、ラフを描画します。



修正が必要な場合は、[ツール] パレットから [消しゴム] ツールを選択すると、描画した線を消去できます。



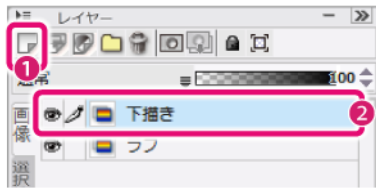
ラフが完成しました。引き続き次の『下描きを描く』に進んでください。



## 下描きを描く

下描き用のレイヤーを作成し、ラフを参考に線を整えながら下描きを描画します。引き続き [鉛筆] ツールを使用します。

### 1 [レイヤー] パレットで下描き用のレイヤーを作成します。



- ① [新規ラスタレイヤー作成] をクリックします。
- ② 新規レイヤーが作成されたら、レイヤー名を「下描き」に変更します。



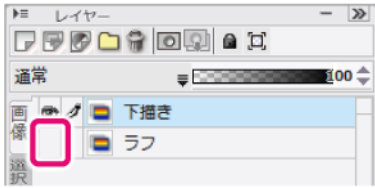
新規レイヤーは、[新規レイヤー作成] クリック時に、選択中のレイヤーの上に作成されます。

### 2 ラフを参考にしながら、[鉛筆] ツールでより具体的な線を描画します。



下描きを描くときは、ラフとは別の色を選択することをおすすめします。ラフの線と区別がつけやすくなります。

- 3** 下描きが終わったら、[レイヤー] パレットの「ラフ」の左にある [レイヤー表示 / 非表示] アイコンをクリックして、オフにします。



「ラフ」を描いたレイヤーが非表示になり、下描きが完成します。

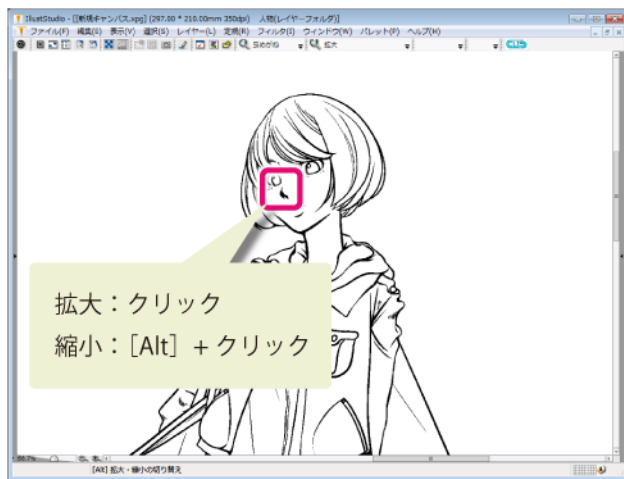


## Tips：キャンバスの操作

IllustStudio では、イラストを描きやすいようにキャンバスの表示を変更できます。ここでは、表示サイズの変更や表示の回転などについて紹介します。

### キャンバスの拡大・縮小

キャンバスを拡大すると、細かい部分を描画しやすくなります。また、全体表示にすると、全体のバランスを確認したい場合に便利です。拡大・縮小には [虫めがね] ツールを使います。



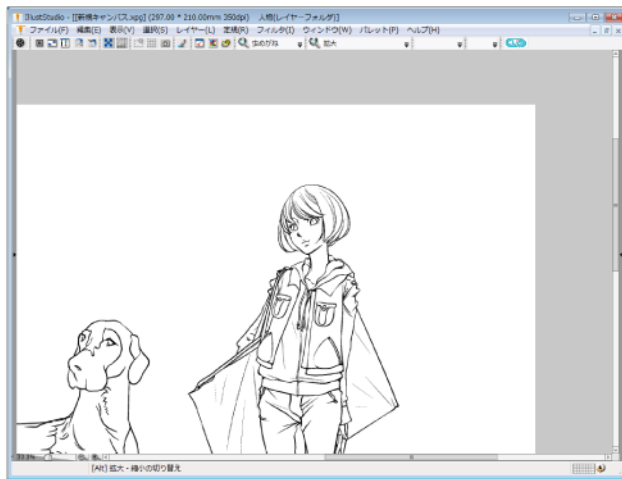
適用前



拡大表示



[虫めがね] ツール



縮小表示

#### 拡大表示

[ツール] パレットから [虫めがね] ツールを選択し、キャンバス上の拡大したい部分をクリックします。

#### 縮小表示

[ツール] パレットから [虫めがね] ツールを選択し、キャンバス上の縮小したい部分を [Alt] キー+クリックします。

#### 全体表示

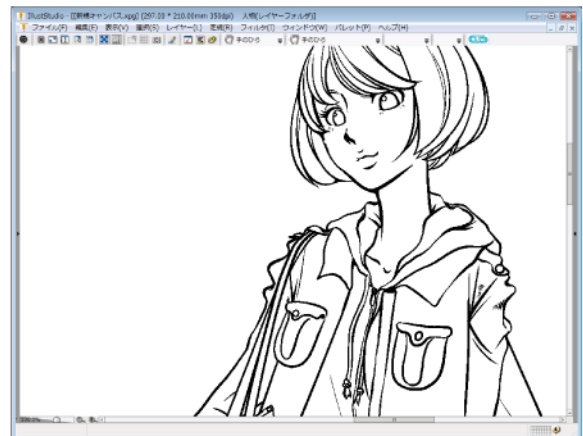
[Ctrl] + [0 (ゼロ)] キーを押します。

## キャンバスの移動

キャンバスを移動すると、描画しやすい位置にイラストを表示できます。移動には [手のひら] ツールを使います。



移動前



移動後

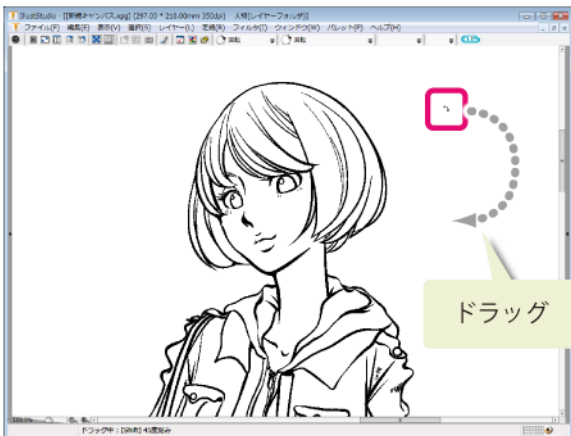


[手のひら] ツール

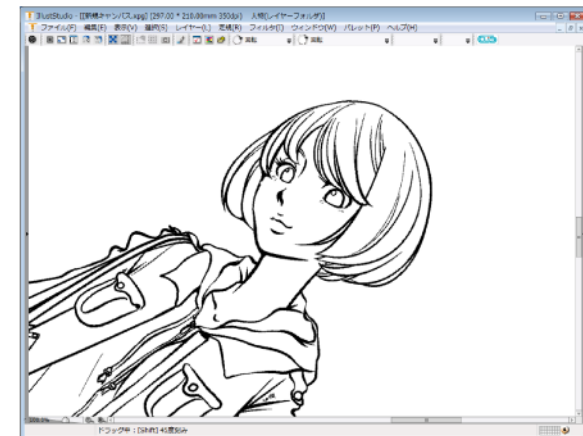
[ツール] パレットから [手のひら] ツールを選択し、キャンバス上で移動したい方向にドラッグします。

## キャンバスの回転

キャンバスを回転すると、描画しやすい角度にイラストを表示できます。回転には [回転] ツールを使います。



回転前



回転後



[回転] ツール

### 回転

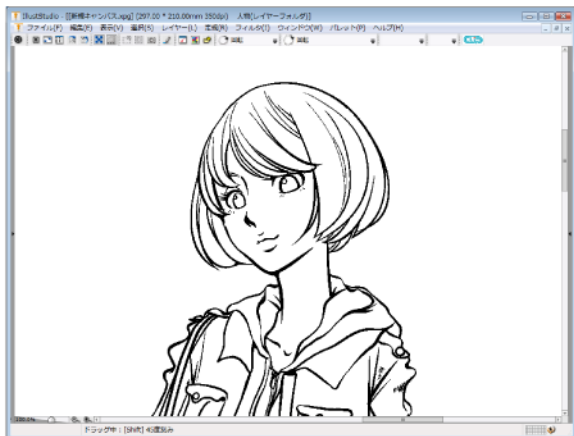
[ツール] パレットから [回転] ツールを選択し、キャンバス上で回転する方向にドラッグします。

### 回転を元に戻す

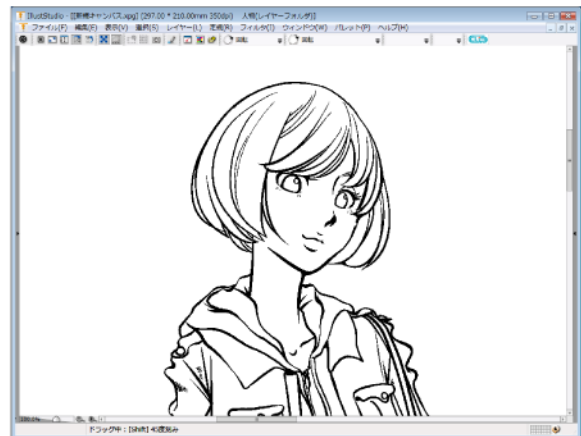
[ツール] パレットから [回転] ツールを選択し、キャンバス上でダブルクリックします。

## キャンバスの左右反転・上下反転

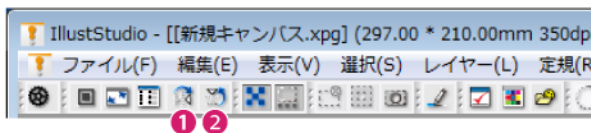
キャンバスを反転表示すると、デッサンの狂いなどの確認ができます。反転表示にはツールバーを使います。



反転前



反転後



### ① 左右反転

ツールバーから「左右反転」をクリックします。再度クリックすると、元に戻ります。

### ② 上下反転

ツールバーから「上下反転」をクリックします。再度クリックすると、元に戻ります。

## キャンバスのショートカット操作

他のツールの使用中に、ショートカットで一時的にツールを切り替えて、キャンバスを操作できます。

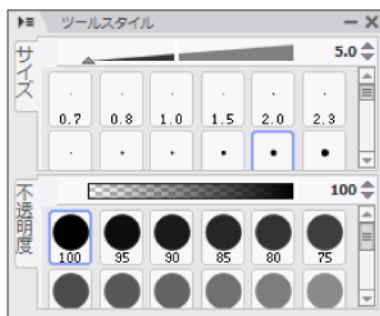
「虫めがね」ツール（拡大）の一時切り替え	[Ctrl] + [Space] キー
「虫めがね」ツール（縮小）の一時切り替え	[Ctrl] + [Space] + [Alt] キー
「手のひら」の一時切り替え	[Space] キー
「回転」ツールの一時切り替え	[Shift] + [Space] キー

## Tips：ツールの操作

IllustStudio には、[鉛筆] ツールや[消しゴム] ツールなどの各種ツールを設定するためのパレットがあります。ツールの使用時にこれらのパレットで設定すると、ツールをより便利に使用できます。これらのパレットが表示されていない場合は、[パレット] メニューから表示できます。

### ツールスタイルパレット

各ツールの[サイズ]と[不透明度]を設定できます。たとえば[鉛筆] ツールや[ペン] ツールなどの描画ツールでは、線の太さや濃さを変更できます。

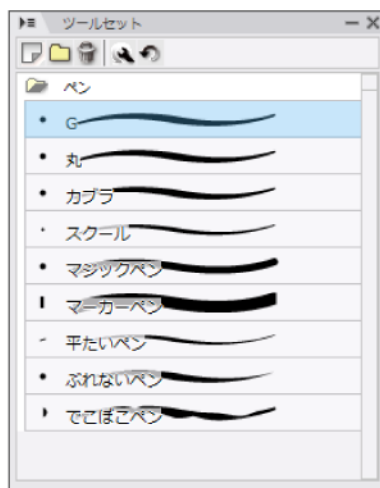


[ツールスタイル]パレット

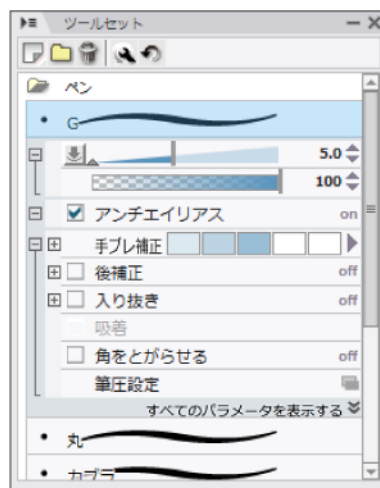
### ツールセットパレット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が適用されます。たとえば[ペン] ツールの場合、G ペンやマジックペンなど、さまざまなペンの種類を選択できます。

ツールセットのストローク表示をクリックすると、そのツールで設定が可能なツールオプションが表示されます。[ペン] ツールの場合、思い通りの線を描くために、線の補正や筆圧の反映などを設定できます。また、[塗りつぶし] ツールの場合、きれいに塗りつぶすために、参照するレイヤーや塗りつぶす範囲などを設定できます。



[ペン] ツール選択時の [ツールセット] パレット



G ペンのツールオプションを表示した場合



[ツールセット] パレットから、ツールオプションを分離できます。[パレット] メニュー→[ツールオプションの分離] を選択すると、[ツールオプション] パレットが表示されます。このパレットでは、ツールオプションの各種設定を行えます。

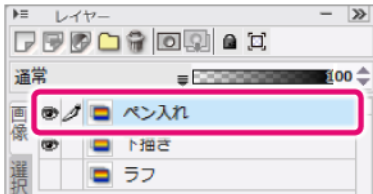
# ペン入れ

下描きをもとにペンで清書します。この作業を「ペン入れ」と言います。

## ペン入れ

ペン入れ用のレイヤーを作成し、下描きをもとにペンを入れ、線画を作成します。IllustStudio のペン入れ作業は、アナログのペン入れとは異なり、[ 消しゴム ] ツールで描画した内容を消去できるので、失敗してもやり直せます。

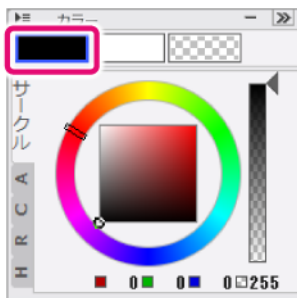
- 1 [ レイヤー ] パレットで「下描き」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、レイヤー名を「ペン入れ」にします。



- 2 [ ツール ] パレットから [ ペン ] ツールを選択します。

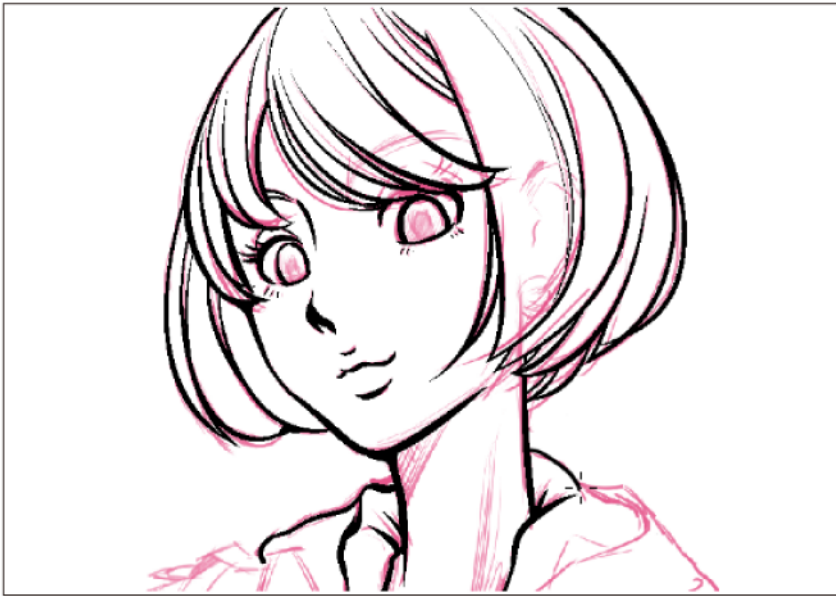


- 3 [ カラー ] パレットで [ メインカラー ] を [ 黒 ] にします。

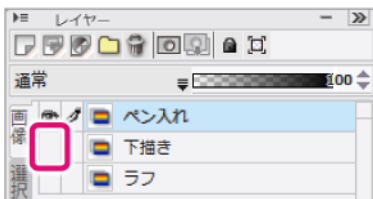




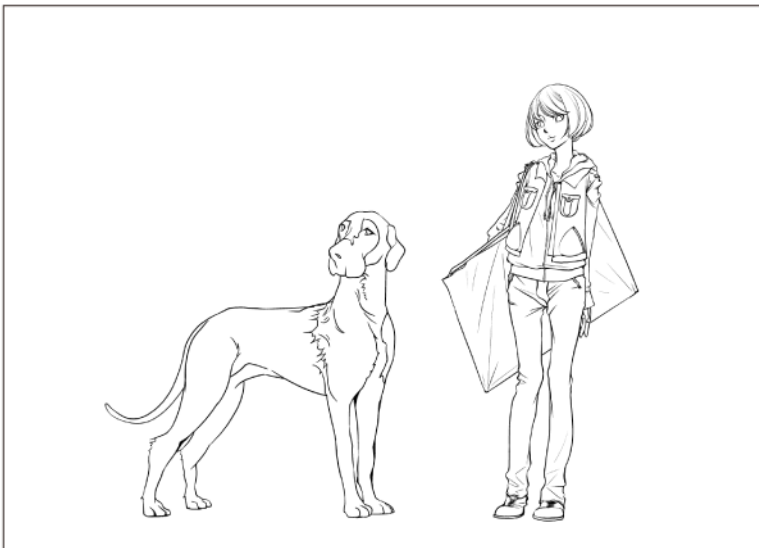
- 4** [ペン] ツールでキャンバス上をドラッグし、下描きを整えていくように線を描きます。



- 5** ペン入れが終わったら、[レイヤー] パレットの「下描き」の左にある [レイヤー表示 / 非表示] アイコンをクリックして、オフにします。



「下描き」レイヤーが非表示になり、線画が完成します。



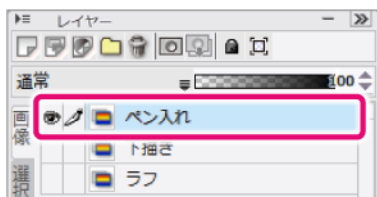
## 下塗り

作成した線画に色を塗ります。パーツごとにレイヤーを作成し、それぞれに下地となる色を入れていきます。この作業を「下塗り」と言います。

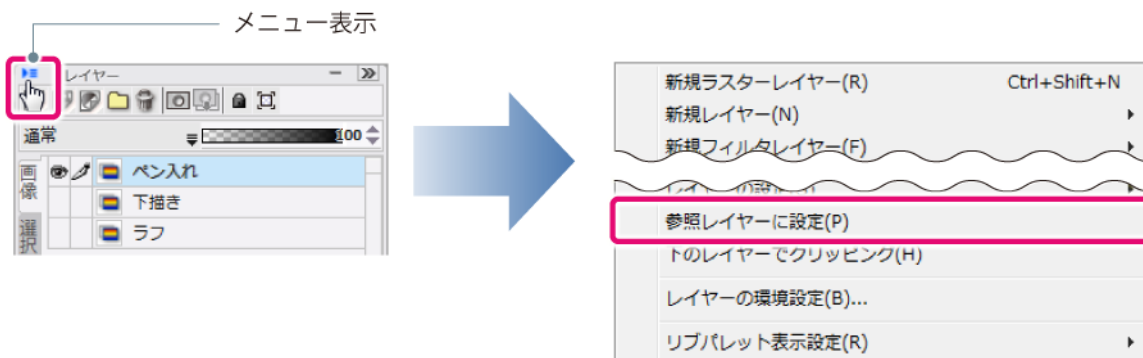
### 線画を参照レイヤーに設定する

「ペン入れ」レイヤーを「参照レイヤー」に設定します。参照レイヤーとは、別のレイヤーで作業するときに参照するためのレイヤーです。設定しておくと、着色作業が簡単になります。

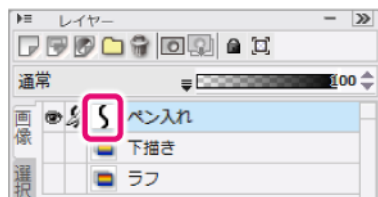
- 1 [レイヤー] パレットから参照レイヤーにしたいレイヤーを選択します。ここでは「ペン入れ」を選択します。



- 2 [レイヤー] パレットの [メニュー表示] から [参照レイヤーに設定] を選択します。



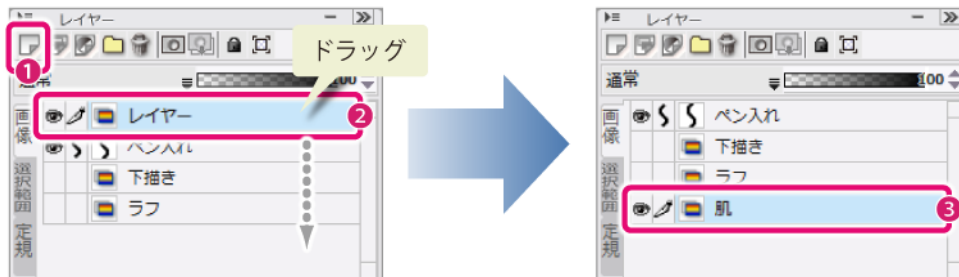
[レイヤー] パレットで選択したレイヤーのアイコンが変更され、参照レイヤーに設定されます。



## 下塗り用のレイヤーを用意する

着色するためのレイヤーを作成します。

- 1 [レイヤー] パレットで下塗り用のレイヤーを新規作成します。

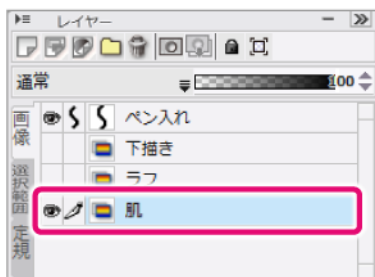


- ① [新規ラスタレイヤー作成] をクリックし、レイヤーを作成します。
- ② 作成したレイヤーを「ラフ」レイヤーの下にドラッグ & ドロップし、移動します。
- ③ レイヤー名をダブルクリックし、レイヤー名を入力します。ここでは、肌に着色するため「肌」と入力します。

## 塗りつぶしツールで着色する

[塗りつぶし] ツールを使用して、先ほど作成した「肌」レイヤーに肌の色を着色します。

- 1 [レイヤー] パレットから着色するレイヤーを選択します。ここでは「肌」レイヤーを選択します。

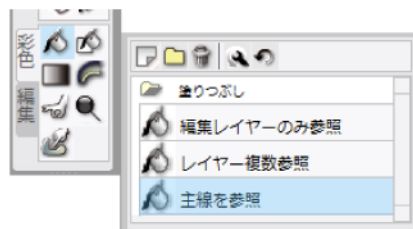


- 2 [ツール] パレットから [塗りつぶし] ツールを選択します。

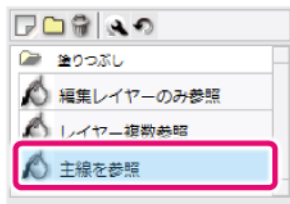


- 3 [ツール] パレットの [塗りつぶし] ツールのアイコンを長押しします。

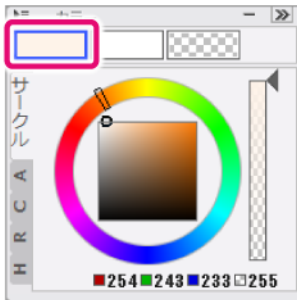
[ツールセット] パレットがポップアップ表示されます。



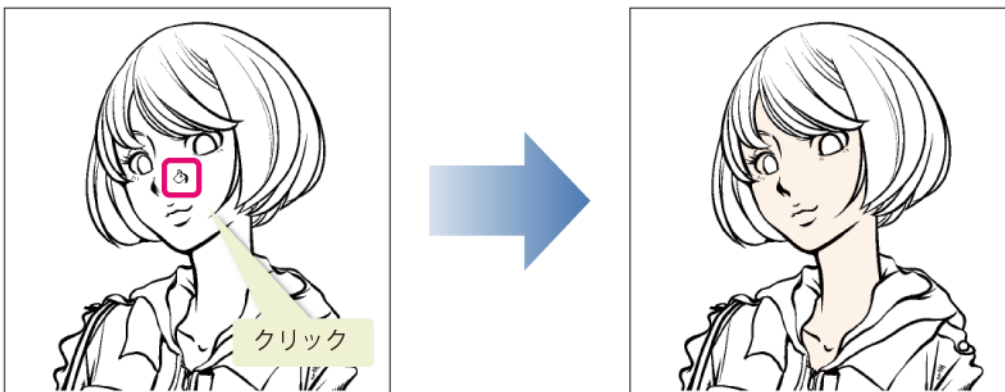
**4** [ツールセット] パレットから [主線を参照] を選択します。



**5** [カラー] パレットから肌に塗る色を選択します。

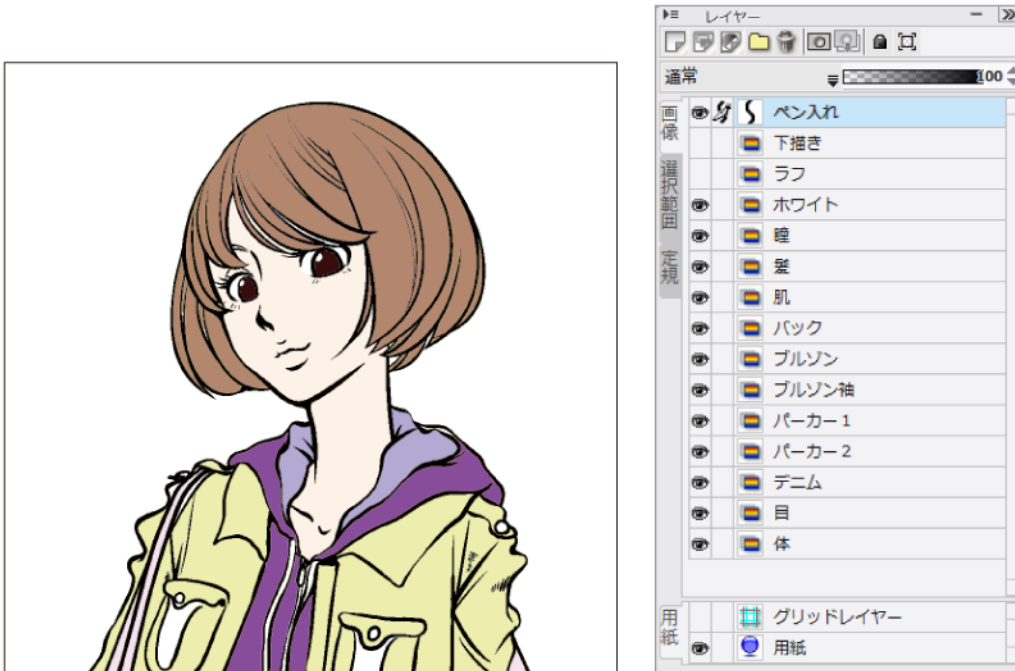


**6** 塗りたい部分をクリックします。



## 7 着色用のレイヤーをパーツごとに作成し、手順 1 ～ 6 の操作で着色します。

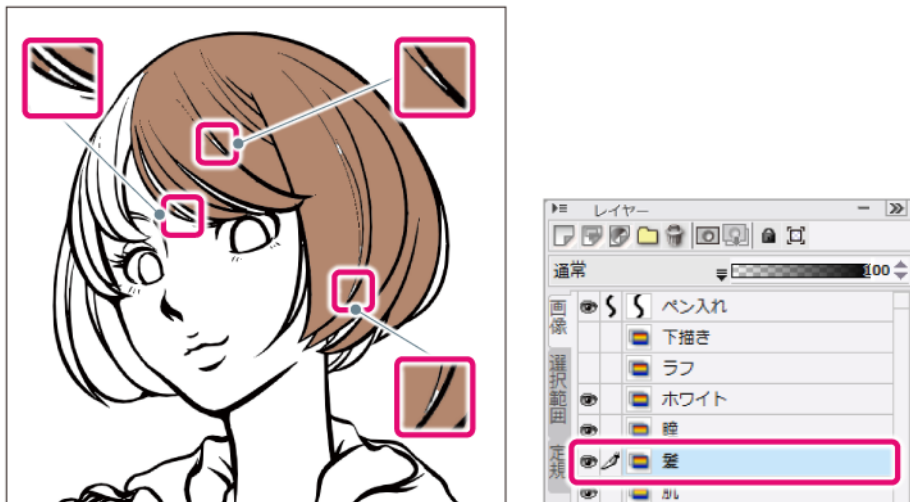
すべてのパーツの着色が完成します。細かい塗り残し部分がある場合は、このまま残しておきます。次の『閉領域フィルツールで細部を着色する』で塗り残し部分を着色します。



## 閉領域フィルツールで細部を着色する

[塗りつぶし] ツールの細かい塗り残し部分は、[閉領域フィル] ツールを使用して着色します。ここでは「髪」レイヤーを例にして説明します。

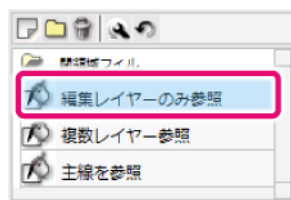
- 1 [レイヤー] パレットから着色するレイヤーを選択します。ここでは、「髪」レイヤーを選択します。



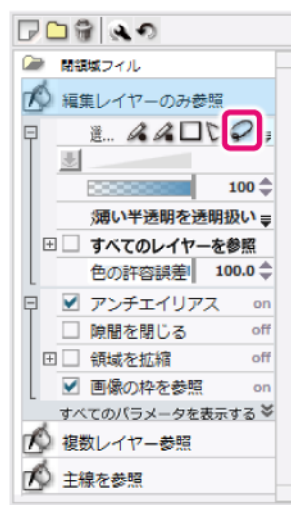
- 2 [ツール] パレットから [閉領域フィル] ツールを選択し、長押しします。



- 3 [ツールセット] パレットから [編集レイヤーのみ参照] を選択します。

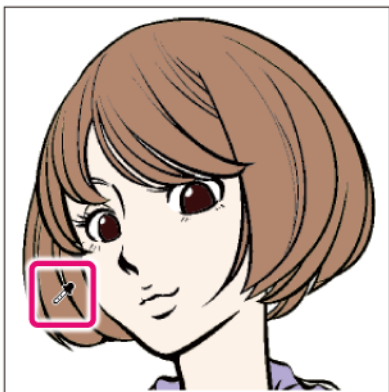


- 4 [編集レイヤーのみ参照] をクリックしてオプションを表示し、[投げなわ範囲] (Throwing Range) を選択します。



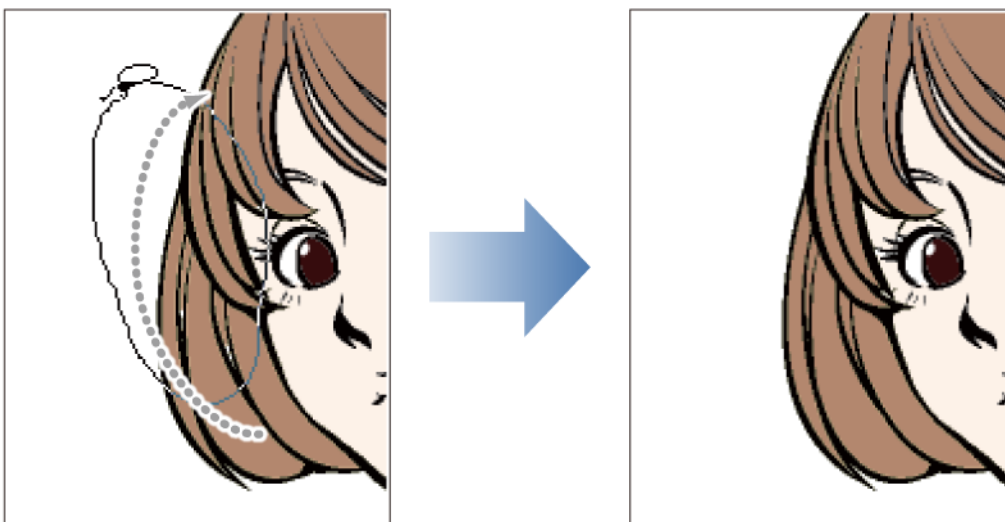
**5** [Alt] キーを押し、すでに塗られている髪の部分をクリックします。

[Alt] キーを押すと一時的に [スポイト] ツールに切り替わり、[メインカラー] にクリックした部分の色が反映されます。



**6** 塗り残し部分を囲むようにドラッグします。

囲んだ範囲内の塗り残し部分がまとめて塗りつぶされます。



**7** その他の塗り残し部分に対して、手順 1 ～ 6 の操作で着色します。

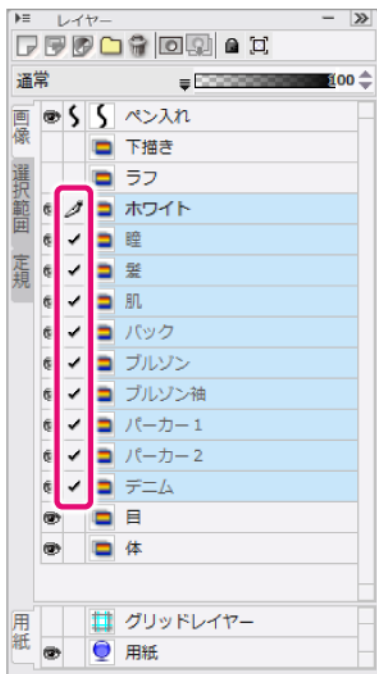
下塗りが完成します。



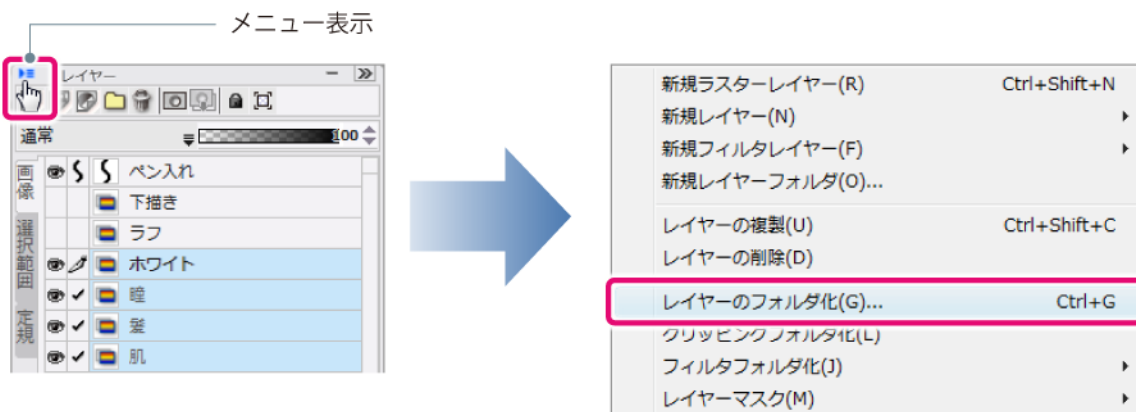
## レイヤーを整理する

着色用のレイヤーを追加したため、レイヤーが増えています。管理しやすいよう「レイヤーフォルダ」を作成してレイヤーを整理します。ここでは、着色用のレイヤーを「人物」と「犬」に分けて整理します。

- 1 [レイヤー]パレットの[レイヤー描画可/不可]欄をクリックし、人物を着色したレイヤーをすべて選択します。

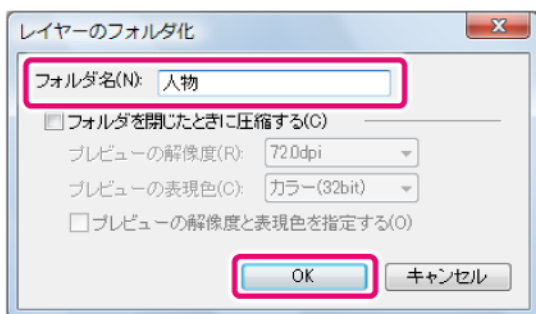


- 2 [レイヤー]パレットの[メニュー表示]から[レイヤーのフォルダ化]を選択します。

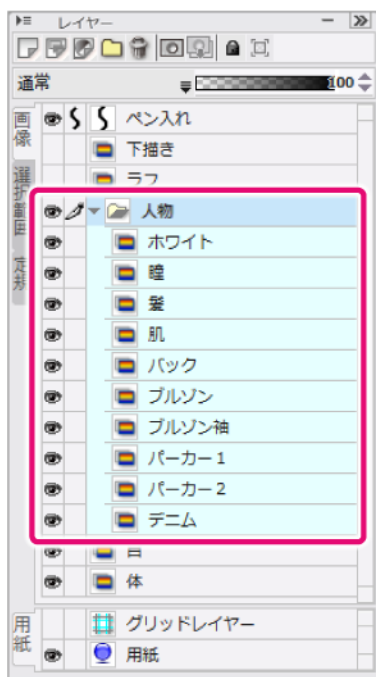




- 3** [レイヤーのフォルダ化] ダイアログの [フォルダ名] を入力します。ここでは「人物」と入力します。最後に [OK] をクリックします。

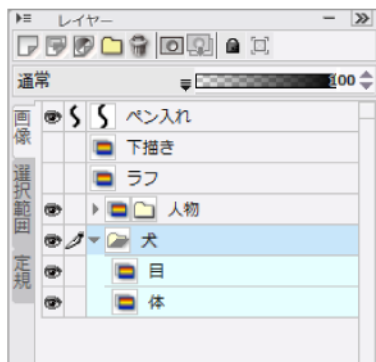


レイヤーフォルダが作成され、選択したレイヤーが格納されます。



[レイヤーのフォルダ化] ダイアログの [フォルダを開いたときに圧縮する] をオンにすると、圧縮フォルダを作成します。圧縮フォルダは、フォルダを開いたときに圧縮がかかり、動作が軽快になります。一時的な圧縮のため、データ自体は劣化しません。

- 4** [レイヤー] パレットから犬を着色したレイヤーを選択し、手順 2 ～ 3 の操作でレイヤーフォルダを作成します。2 種類のレイヤーフォルダが作成されます。レイヤーフォルダの左にある三角形をクリックすると、レイヤーフォルダを開閉できます。



## 仕上げ

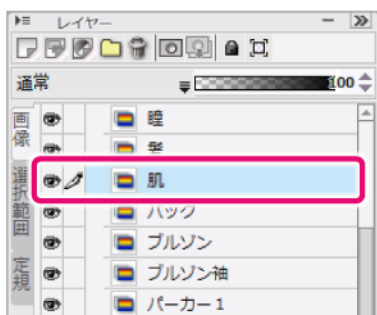
下塗りが終わったら、影やハイライトを入れてイラストに立体感をつけます。

### 影とハイライトを入れる

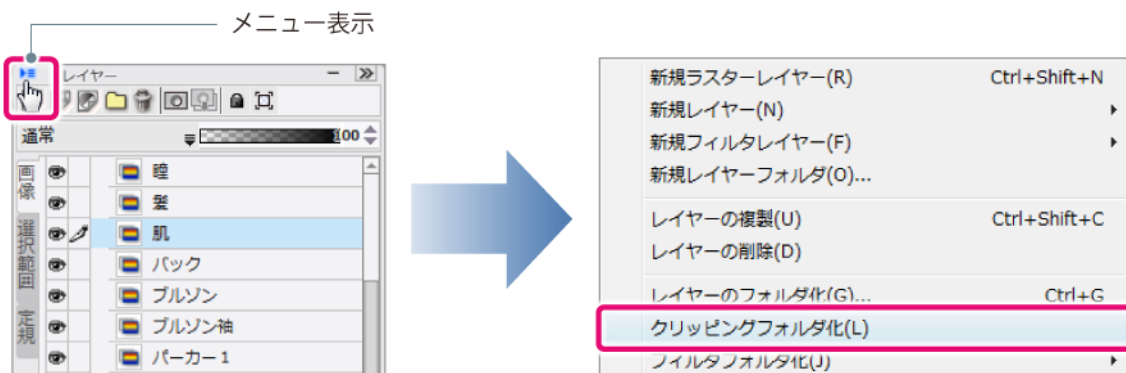
作成した着色レイヤーを「クリッピングフォルダ」に格納し、影とハイライト用のレイヤーを作成して描画します。

クリッピングフォルダを作成すると、フォルダ内の一番下のレイヤーが親レイヤーとして登録されます。クリッピングフォルダは、親レイヤーの描画部分以外にマスクが作成されます。フォルダ内の他のレイヤーに描画した場合、親レイヤーの描画部分だけ表示されるため、色がはみ出さずに着色できます。

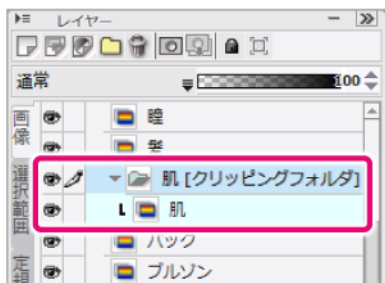
- 1 [レイヤー] パレットから影をつけたいレイヤーを選択します。ここでは「肌」レイヤーを選択します。



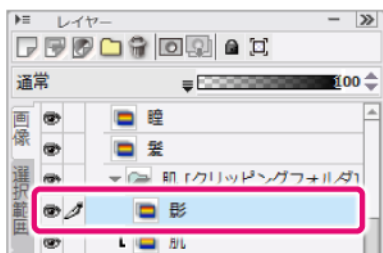
- 2 [レイヤー] パレットの [メニュー表示] から [クリッピングフォルダ化] を選択します。



[レイヤー] パレットに「肌 [クリッピングフォルダ]」が作成されます。「肌」レイヤーが親レイヤーに設定され、[L] の表示が付きます。

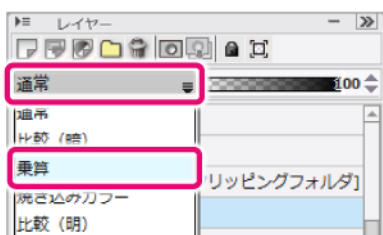


**3** 「肌」レイヤーの上に新規レイヤーを作成します。ここでは影を着色するので、レイヤー名を「影」に変更します。



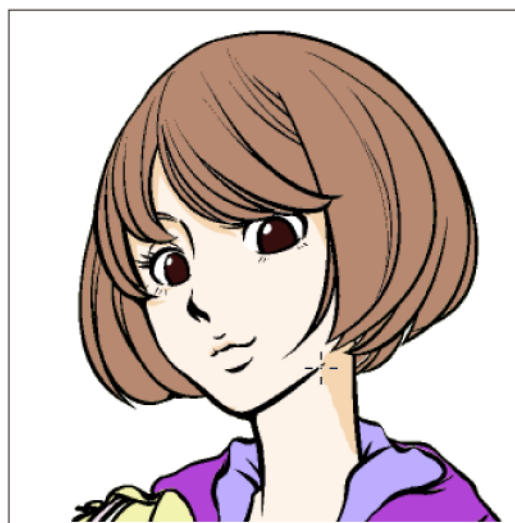
クリッピングフォルダ内の新規レイヤーは必要に応じて作成します。たとえば、影とハイライトの両方を着色する場合は、新規レイヤーを2枚作成し、「影」と「ハイライト」に分けます。

**4** [レイヤー] パレットの [合成モード] をクリックして表示されるメニューから [乗算] を選択します。



ハイライトを入れる場合は、[スクリーン] や [覆い焼きカラー] などを選択すると、明るい色になります。

**5** [カラー] パレットで色を選択し、[ペン] ツールで影を塗ります。



- [合成モード] の [乗算] を選択して肌の影を塗る場合は、少し赤めの色を使うと、色が沈まずにきれいな肌色になります。
- [合成モード] の [スクリーン] や [覆い焼きカラー] を選択してハイライトを入れる場合は、明るすぎる色を使用すると白色になります。  
色味を残したい場合は、多少暗めの色で描画します。
- 色が濃すぎたり、明るすぎたりする場合は、[レイヤー] パレットでレイヤーの不透明度を下げ、コントラストを調節します。

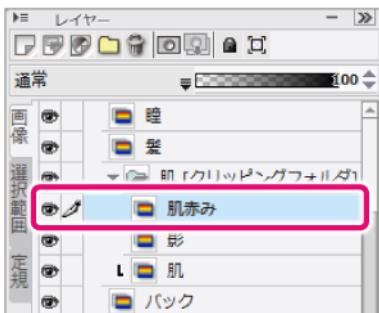
- 6** その他の描画部分に対して、手順 1 ～ 5 の操作で影やハイライトを着色します。  
影とハイライトの着色が完成です。



## 肌に赤みを入れる

人物の頬や唇に [エアブラシ] ツールで赤みを入れます。

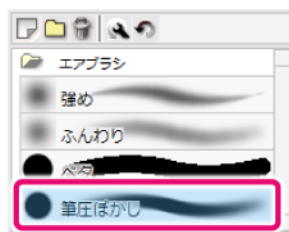
- 1** 「肌 [クリッピングフォルダ]」の「影」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、レイヤー名を「肌赤み」に変更します。



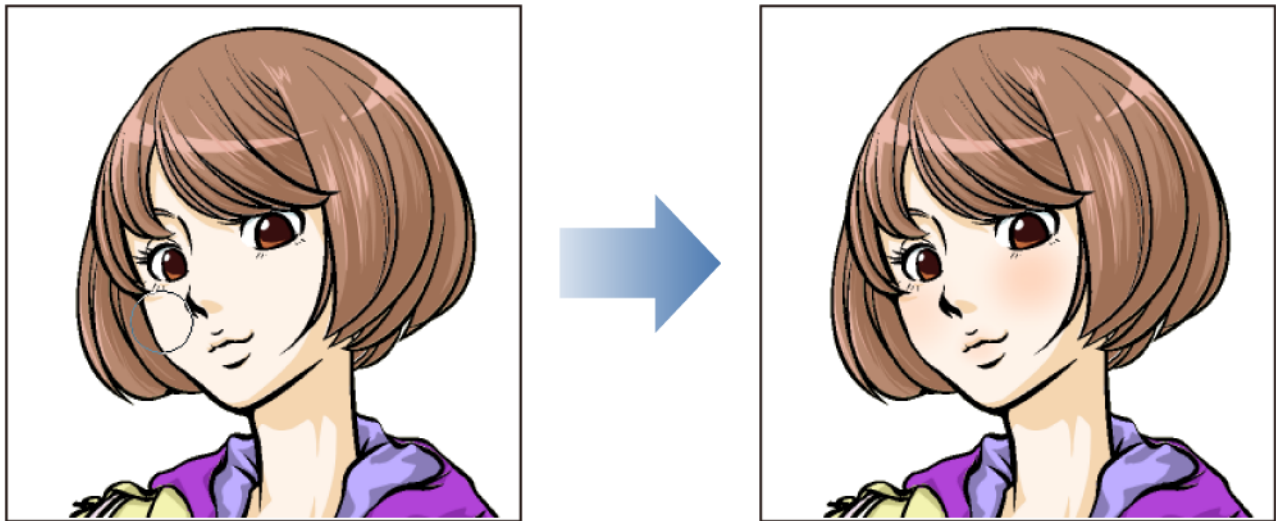
- 2** [ツール] パレットから [エアブラシ] ツールを選択し、長押しします。



- 3** [ツールセット] パレットから [筆圧ぼかし] を選択します。



#### 4 [カラー] パレットから色を選択し、[エアブラシ] ツールで着色します。

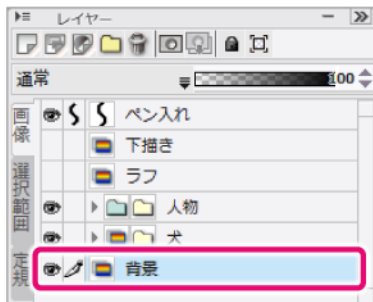


[エアブラシ] ツールは、ペンタブレットの筆圧で色が変わります。淡い色にしたい場合、筆圧を弱くします。また、[レイヤー] パレットでレイヤーの不透明度を調整しても、色を変更できます。

### 背景を入れる

背景を [グラデーション] ツールで作成します。

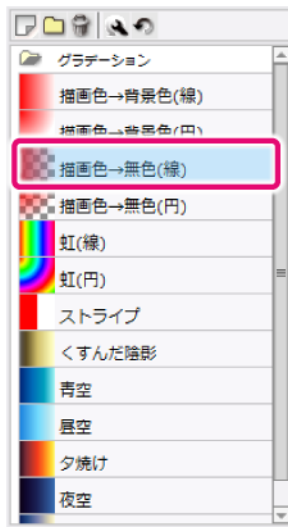
#### 1 背景用のレイヤーを新規作成し、[レイヤー] パレットの [画像] リブの一番下に配置します。レイヤー名は「背景」とします。



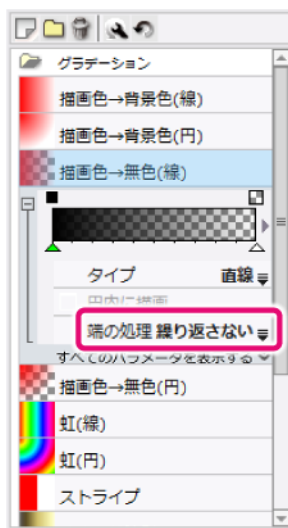
#### 2 [ツール] パレットから [グラデーション] ツールを選択し、長押しします。



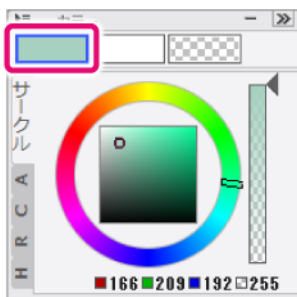
- 3** [ツールセット] パレットから、[描画色→無色(線)] を選択します。



- 4** [描画色→無色(線)] をクリックしてツールオプションを表示します。[端の処理] をクリックし、[繰り返さない] を選択します。

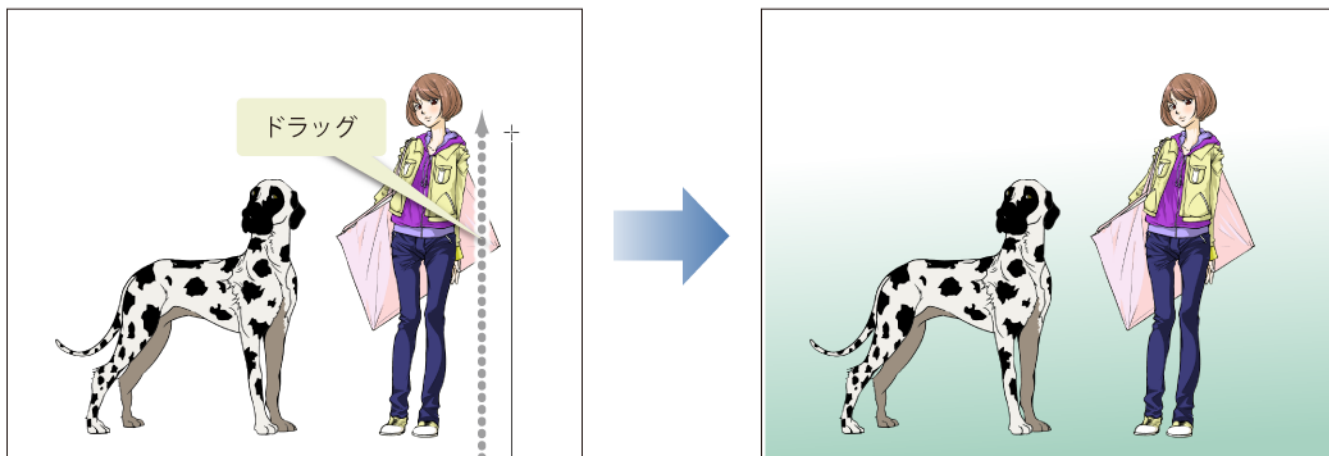


- 5** [カラー] パレットから、グラデーションに使用したい色を選択します。



## 6 グラデーションの始点から終点に向かってドラッグします。

グラデーションが描画され、背景が完成します。

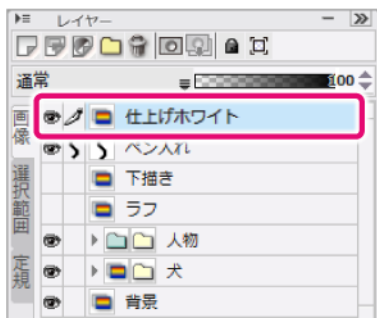


[Shift] キーを押しながらドラッグすると、垂直方向にグラデーションを描画できます。

## ホワイトを入れる

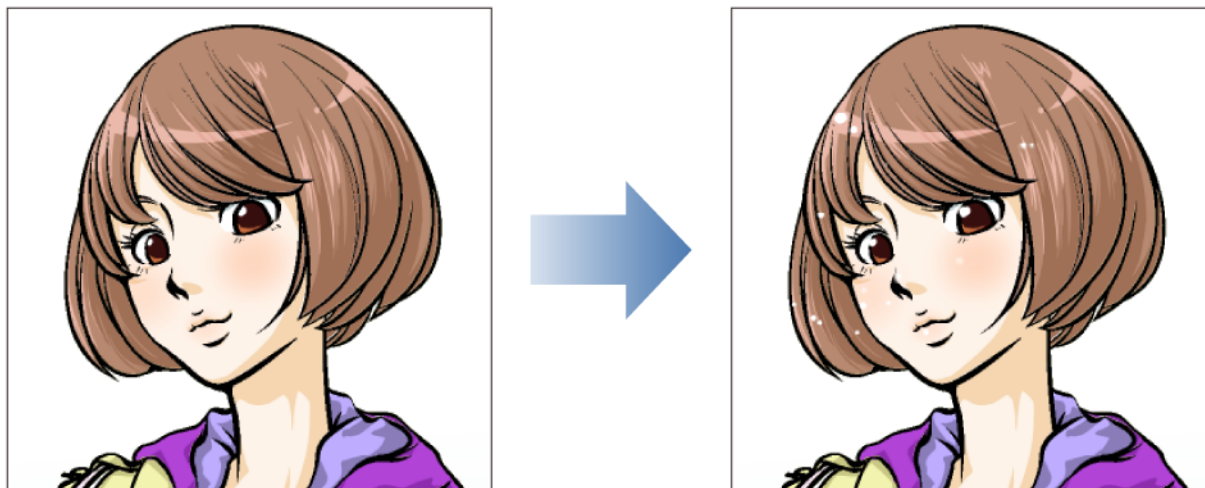
イラスト全体にアクセントをつけるため、仕上げにホワイトを入れます。

### 1 「ペン入れ」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、レイヤー名を「仕上げホワイト」に変更します。



### 2 [カラー] パレットから白を選択し、[ペン] ツールや [エアブラシ] ツールで細かいホワイトを描画します。

ここでは、髪の毛のほか、頬の赤みや唇にもホワイトを入れています。



ホワイトが入れ終わったら、イラストの完成です。





# IllustStudio の 主な機能

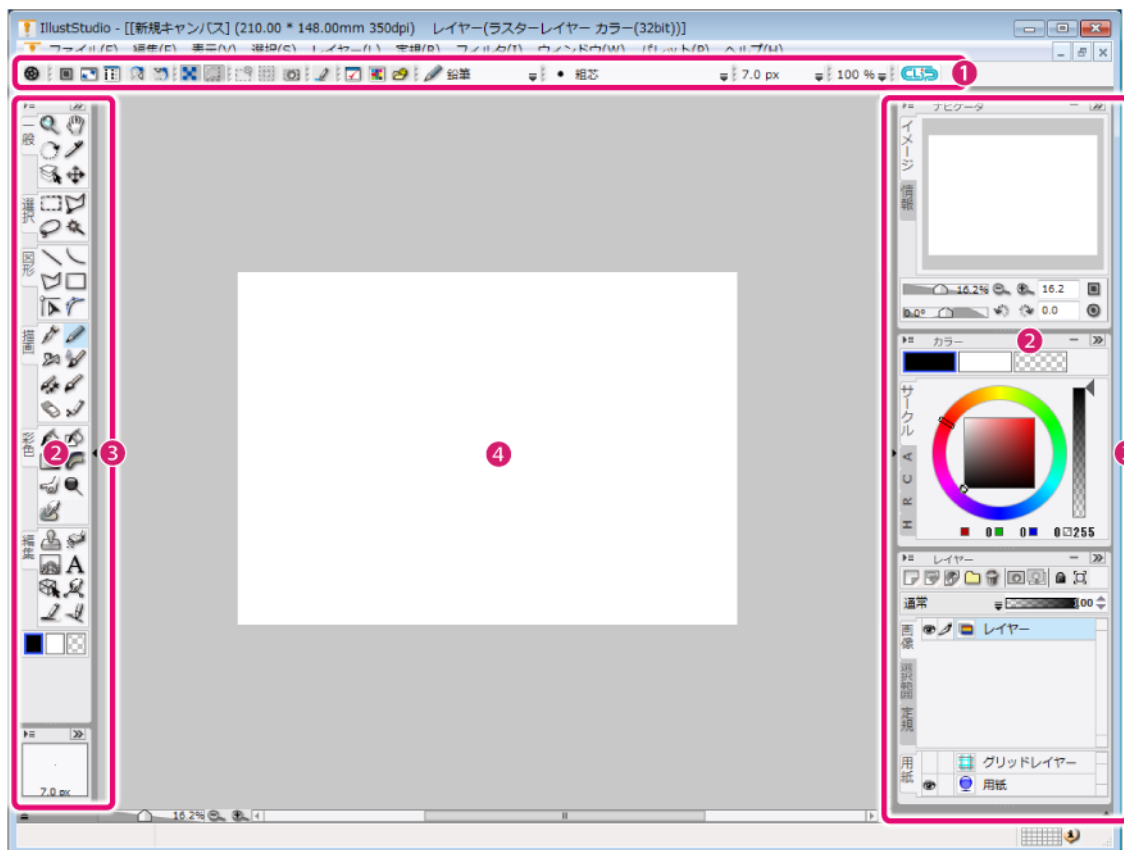
ここでは、IllustStudio の特徴的な機能について紹介します。

## カスタマイズ

IllustStudio は、作業スタイルに合わせて、画面をカスタマイズできます。たとえば、イラストを表示するスペースを広くしたい、よく使う機能だけ表示したいなど、用途に合わせたカスタマイズが可能です。

### IllustStudio の画面

カスタマイズを紹介する前に、簡単に IllustStudio の画面について紹介します。ここでは『IllustStudio でイラストを描いてみよう』→『イラスト制作前の準備』→『IllustStudio の画面設定』の手順 2 で選択したレイアウトを例にしますが、他のレイアウトを選択した場合も同様です。



- ① **ツールバー**  
アイコンをクリックすると、各種機能を使えます。よく使う機能のアイコンを表示するなど、アイコン表示のカスタマイズもできます。
- ② **パレット**  
各種設定を行うための画面です。パレットにはさまざまな種類があります。この画面ではドックに格納されていますが、ウィンドウやダイアログのように単独の表示もできます。
- ③ **ドック**  
複数のパレットを格納する領域です。左右いずれかの [▼] をクリックすると、格納したパレットの表示・非表示を一括で切り替えられます。
- ④ **キャンバス**  
画像を編集する領域です。ここにイラストを描画します。

## リブパレット表示

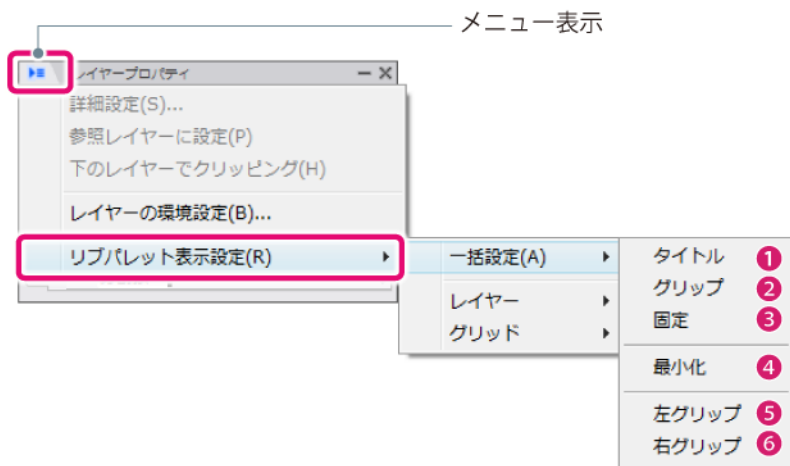
各種パレットには設定項目をカテゴリに分けた「リブ」という領域があります。リブはその表示設定を変更して使いやすいようにカスタマイズできます。

### リブパレット表示設定

各パレットの[メニュー表示]で表示されるメニュー→[リブパレット表示設定]で表示方法をカスタマイズできます。

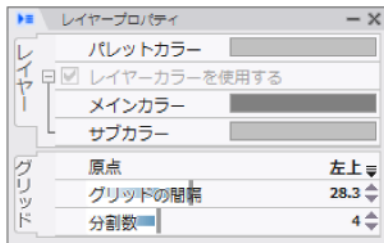
すべてのリブの表示方法を変更する場合、[一括設定]を選択して表示方法を選択します。リブごとに表示方法を変更する場合、リブ名を選択して表示方法を選択します。

表示方法には、次の種類があります。



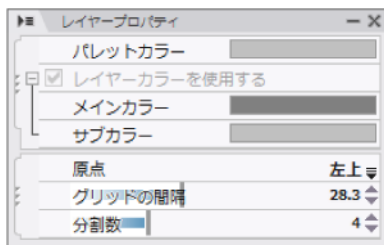
#### ① タイトル

リブにタイトルを表示する設定です。



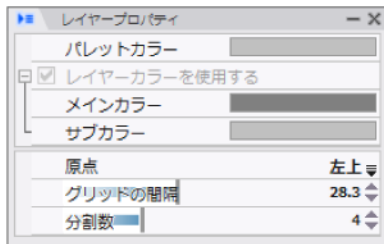
#### ② グリップ

リブにタイトルを表示しない設定です。タイトルを表示しない分、リブを省スペース化します。



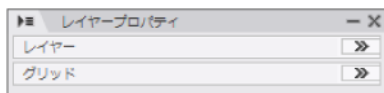
### ③ 固定

リブを表示しない設定です。リブ内の項目の表示位置が固定します。リブをタブ化している場合、設定が適用されません。



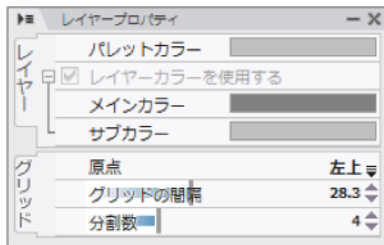
### ④ 最小化

リブを最小化し、タイトルだけを表示する設定です。リブ内の項目を設定するには、タイトル右端の [>>] アイコンをクリックします。元の表示に戻すには、リブをダブルクリックします。



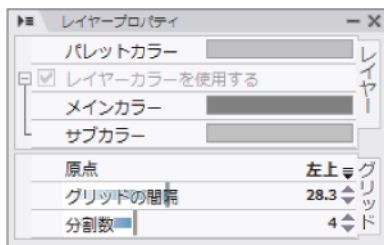
### ⑤ 左グリップ

リブのタイトルまたはグリップを左側に表示します。



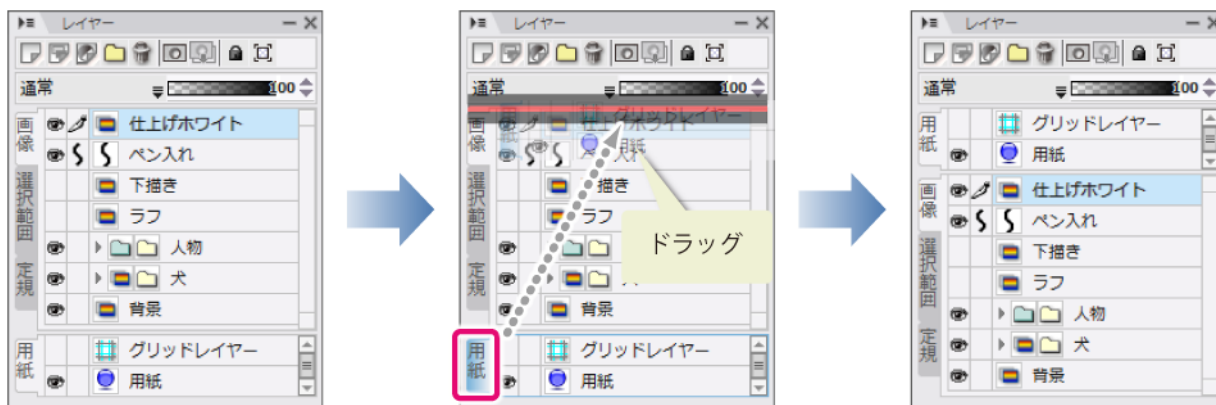
### ⑥ 右グリップ

リブのタイトルまたはグリップを右側に表示します。



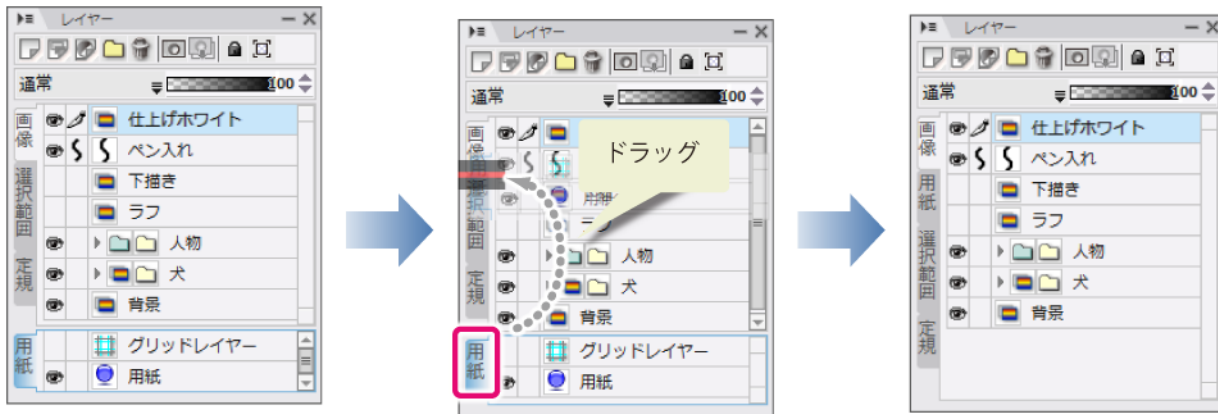
## リブの移動

リブはドラッグ&ドロップして表示する位置を変更できます。



## リブのタブ化

リブは重ねてタブのように表示できます。リブを重ねたいリブにドラッグ&ドロップすると重なります。

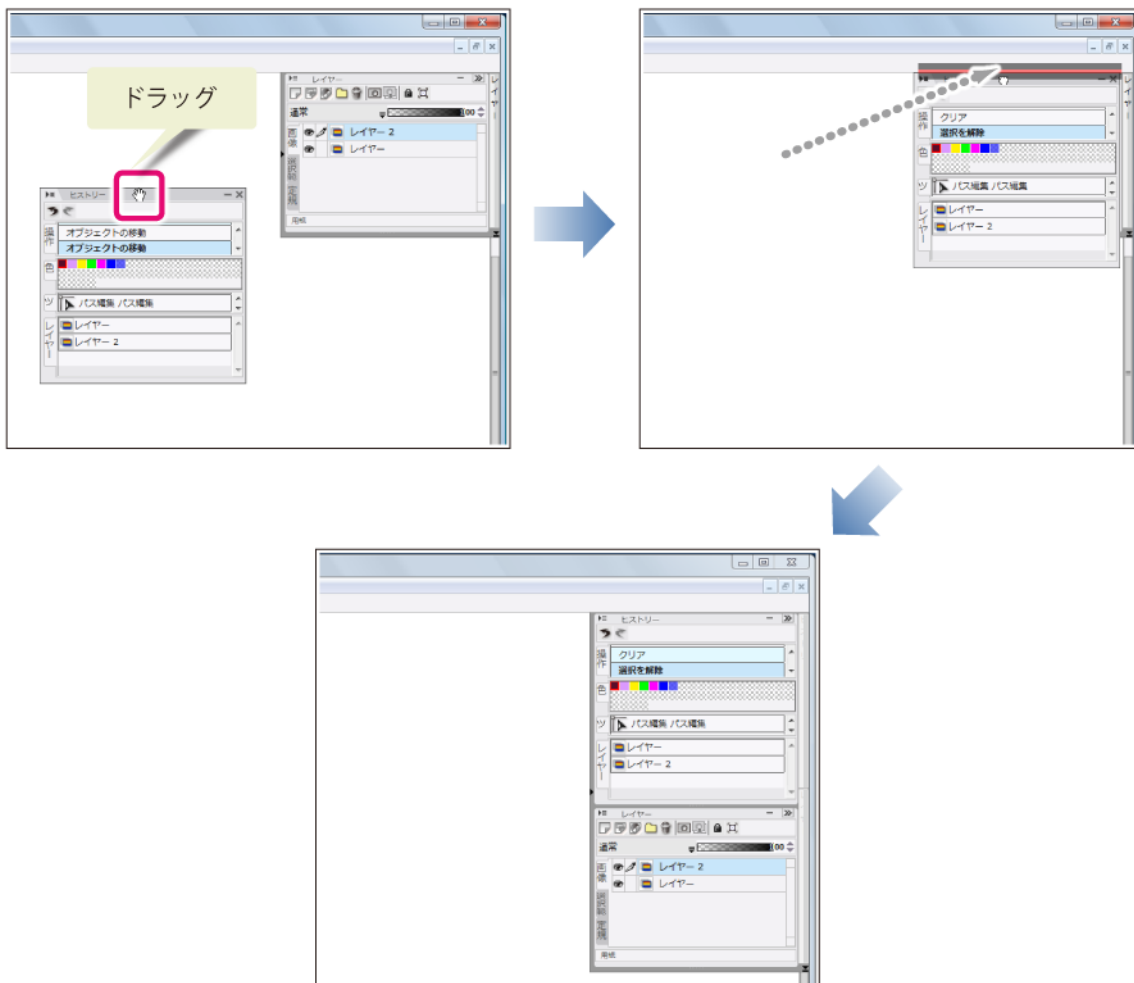


## ドックのカスタマイズ

パレットはメインウィンドウの左右にあるドックに格納できます。ドック内で位置を変更できます。

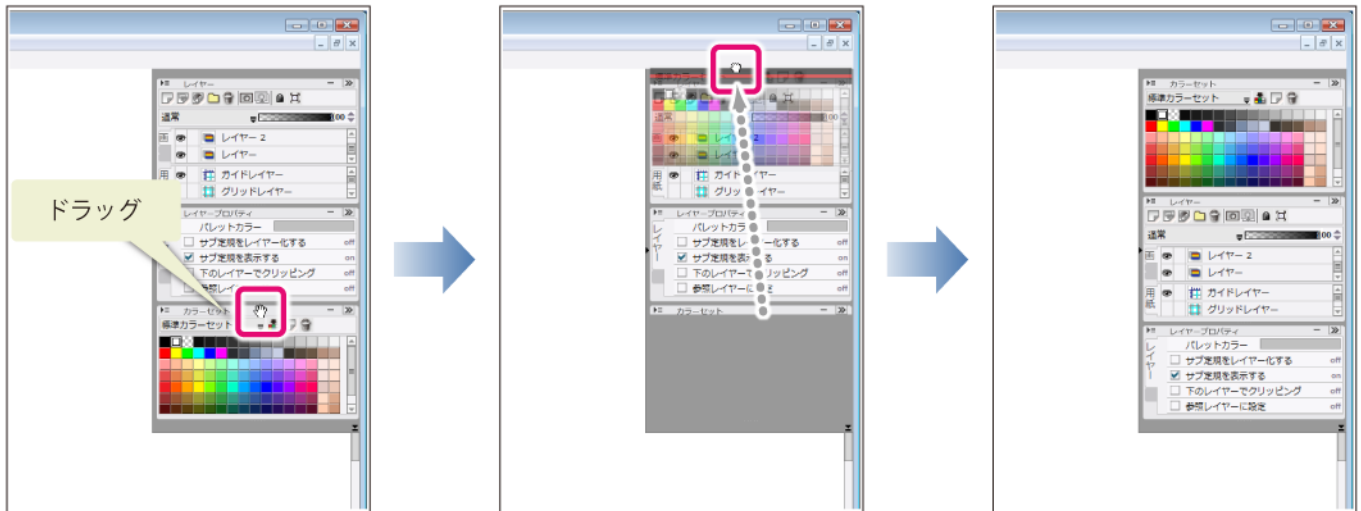
### パレットをドックに格納する

パレットのタイトルバーにマウスカursorを合わせ、ドックにドラッグ&ドロップすると、好きな位置に格納できます。



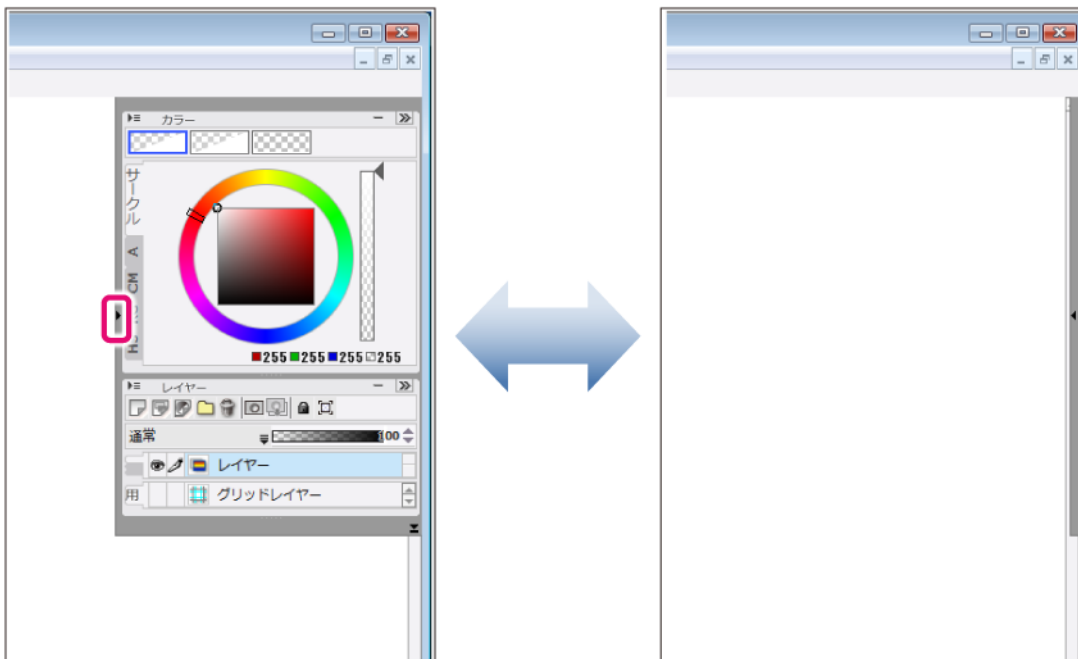
## ドック内でパレットの位置を入れ替える

ドック内のパレットのタイトルバーにマウスカーソルを合わせ、ドック内の移動したい位置にドラッグ&ドロップすると、位置を入れ替えられます。



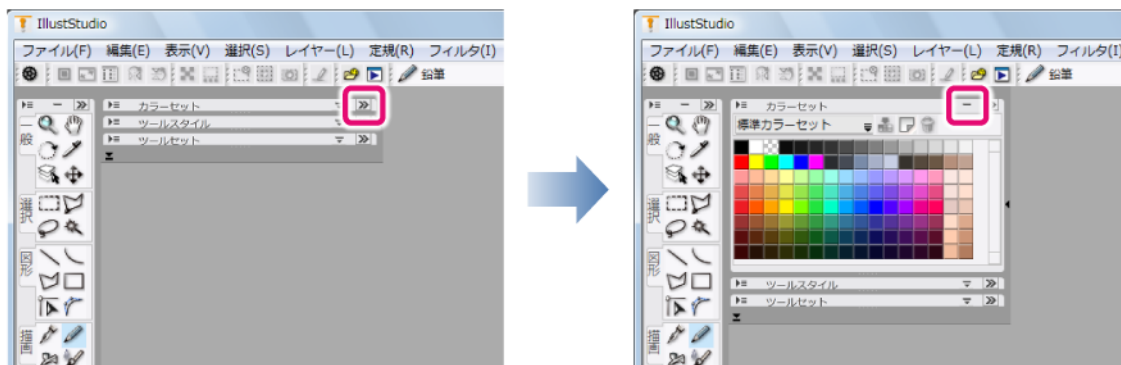
## ドックの表示 / 非表示

ドックに格納されているパレットをまとめて非表示にしたい場合は、左右いずれかの [▼] をクリックします。再度 [▼] をクリックすると元に戻せます。



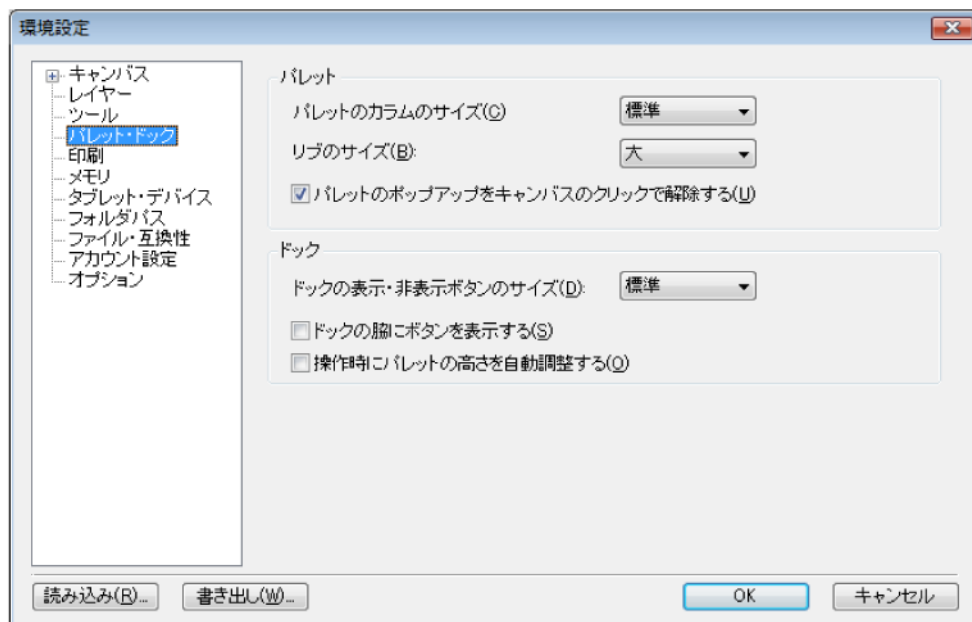
## パレットの表示 / 非表示

特定のパレットの表示 / 非表示を切り替えたい場合は、パレット名の右横にある [ - ] アイコンまたは [ ▼ ] アイコンをクリックすると、切り替えられます。



## Tips : 環境設定を使用したカスタマイズ

[ 環境設定 ] ダイアログの [ パレット・ドック ] で、パレットやドックの表示サイズなどを設定できます。[ 環境設定 ] ダイアログは、[ ファイル ] メニュー → [ 環境設定 ] の順に選択すると、表示されます。



## ワークスペース

自分で設定したパレットの配置を「ワークスペース」として登録し、制作の工程やイラストの作風に合わせてワークスペースを切り替えられます。ワークスペースは [ウィンドウ] メニュー→[ワークスペースに登録] で登録します。登録したワークスペースに切り替えるには、[ウィンドウ] メニュー→[ワークスペースの読み込み] からワークスペースを選択します。



## ツールバーのカスタマイズ

ツールバーをカスタマイズして、よく使う機能のアイコンを表示できます。[ファイル] メニュー→[カスタマイズ]→[ツールバーのカスタム] で設定できます。



## ツールパレットのカスタマイズ

ツールパレットをカスタマイズして、よく使う機能のアイコンの登録やリブを追加できます。[ファイル] メニュー→[カスタマイズ]→[ツールパレットのカスタム] で設定できます。



[ツール] パレットにツールセットを登録した場合、アイコンの色を変更できます。



## ペン・ブラシ

IllustStudio には、多彩なペンやブラシがあります。ここでは、ペンやブラシの一部機能を紹介します。

### ペンツール

[ペン] ツールは、つけペンやサインペンのような描き味のツールです。設定次第で好みの線を描画できます。



[ペン] ツール

[ペン] ツールで描画した例

### ツールオプション

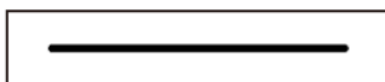
[ツールオプション] はさまざまな設定ができ、線の描き味を変更できます。

#### 影響元

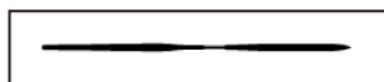
項目名の左に、[影響元] ボタンがある場合、ペンタブレットの筆圧などに応じて変化のある線を描画できます。



たとえば、[ブラシのサイズ] の左にある、[影響元] を [ペンの筆圧] に設定した場合、ペンタブレットの筆圧の強弱に応じて線の太さが変わります。



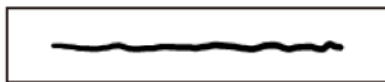
[変化なし] に設定



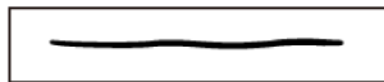
[ペンの筆圧] に設定

#### 補正

補正を設定すると、手ブレなどを抑えたなめらかな線を描画できます。



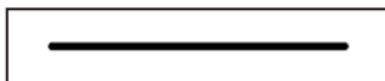
補正が無効の場合



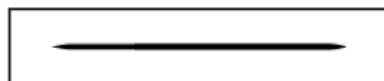
補正が有効の場合

#### 入り抜き

線の描き始めと描き終わりが徐々に細くなる、入り抜きの効果をつけて描画できます。



[入り抜き] オフ



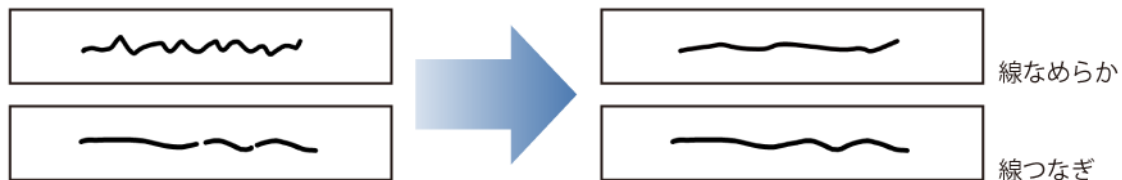
[入り抜き] オン

## ベクター形式に対応

ベクターレイヤーを作成して、ベクター形式で描画できます。ベクター形式とは、描画した線に対して、位置や画像の描き方を記録していく方法です。そのため、拡大・縮小や線の修正がラスターレイヤーより簡単にできます。

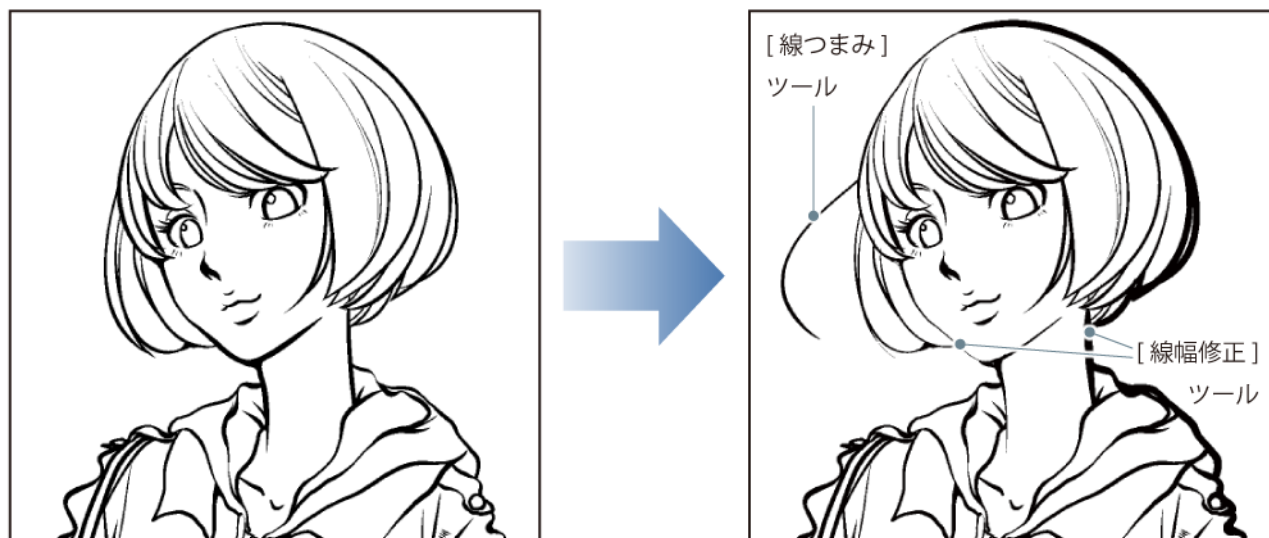
### 線編集ツール

[線編集] ツールは、線をなめらかにしたり、切れた線をつないだりできます。



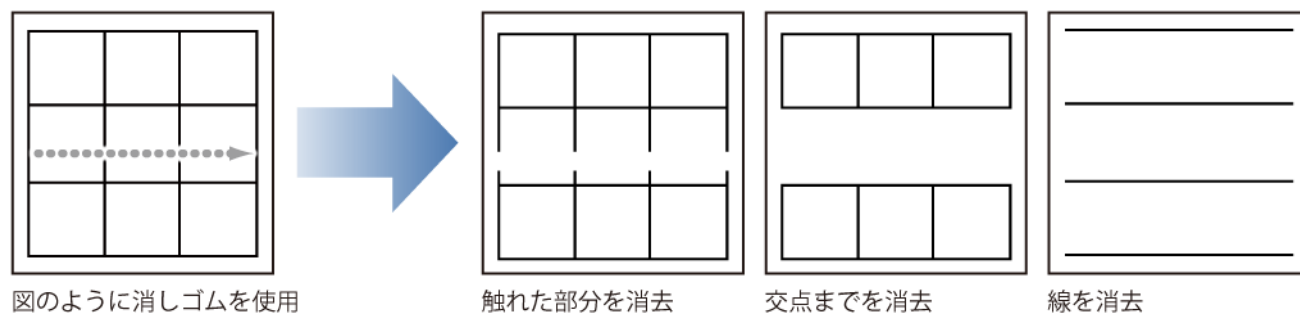
### 線つまみツール・線幅修正ツール

[線つまみ] ツールは、線をつまんで変形できます。[線幅修正] ツールは、選択した線の太さを変更できます。



### 消しゴムツール

[消しゴム] ツールをベクターレイヤー上で使用する場合、消去する方法を選択できます。



## 水彩ツール

〔水彩〕ツールは、水彩筆のようなタッチで描画でき、淡い色の彩色に向いています。また、設定次第では、筆のタッチを活かして油彩のような描画もできます。

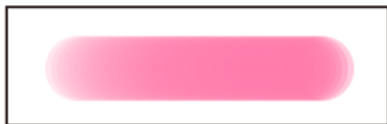


〔水彩〕ツール

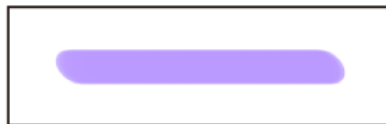
〔水彩〕ツールで彩色した例

## ツールセット

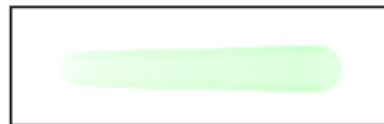
〔水彩〕ツール選択時の〔ツールセット〕パレットには、複数の〔水彩〕ツールの設定が登録されています。〔ツールセット〕パレットから設定を選択するだけで、次のようにさまざまな水彩画のタッチを使用できます。



〔不透明水彩〕



〔油彩筆〕



〔水多め〕

## ツールオプション

〔ツールオプション〕はさまざまな設定ができ、水彩の色調を変更できます。

### 絵の具量

絵の具の色の混ざり具合を変更できます。



〔絵の具量〕を 30 に設定した場合



〔絵の具量〕を 70 に設定した場合

### 絵の具濃度

絵の具の濃さ（不透明度）の混ざり具合が変更できます。



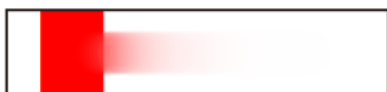
〔絵の具濃度〕を 30 に設定した場合



〔絵の具濃度〕を 70 に設定した場合

### 色延び

水彩絵の具で描いたときの色の延びを再現できます。設定に応じて、色の延び具合を調整できます。



〔色延び〕を 10 に設定した場合



〔色延び〕を 80 に設定した場合

## 水彩境界

水彩絵の具で描いたときにできる線の縁を再現できます。



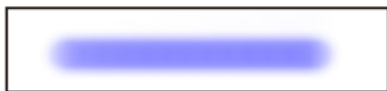
[ 水彩境界 ] をオフに設定した場合



[ 水彩境界 ] をオンに設定した場合

## 影響元

項目名の左に、[ 影響元 ] ボタンがある場合、ペントブレットの筆圧などに応じて変化のある線を描画できます。ここでは [ 不透明度 ] の左にある [ 影響元 ] の設定を変更しています。



[ 変化なし ] に設定した場合



[ ペンの筆圧 ] に設定した場合

## パターンブラシ

[ パターンブラシ ] ツールは、ペン先にさまざまなパターンを選択して描画するツールです。色鉛筆や筆のようなタッチのほか、連続した模様（パターン）を描画できます。また、オリジナルのパターンも登録できます。

次の作例では、オリジナルのパターンを組み合わせ、雲と葉の部分に [ パターンブラシ ] を使用しています。



雲に使用したパターン



葉に使用したパターン  
4 種類をマルチブラシで使用



[ パターンブラシ ] ツール

## ツールセット

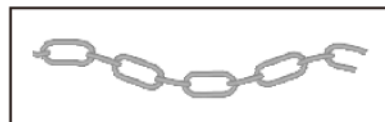
[ パターンブラシ ] ツール選択時の [ ツールセット ] パレットには、複数の [ パターンブラシ ] ツールの設定が登録されています。[ ツールセット ] パレットから設定を選択するだけで、次のようにさまざまなパターンを描画できます。



[ 平毛筆 ]



[ ハート A ]



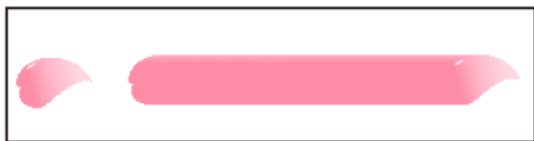
[ 鎖 ]

## 描画スタイル

[ ツールオプション ] の [ 描画スタイル ] では、次のようにパターンの描画方法を設定できます。

### ペン

ペンで描いたようにパターンがつながった状態で描画できます。



### スプレー

スプレーのようにパターンを散布します。



### スタンプ

指定の間隔でパターンを繰り返し描画できます。



### リボン

パターンをストロークに沿って変形させて描画できます。

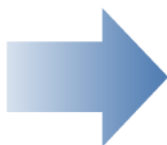


## 画像をブラシ素材に登録

自作のパターンを登録し、オリジナルのツールセットを作成できます。[ 編集 ] メニュー → [ 素材の登録 ] → [ 画像をブラシ素材に登録 ] で作成できます。



パターンを登録



パターンを描画

## マルチブラシ

[ ツールオプション ] の [ ブラシ形状 ] で、「マルチブラシ」を作成できます。マルチブラシとは複数のパターンを組み合わせで描画するブラシです。



[ 花 (桜 2) ] と [ 花 (桜 4) ] の組み合わせ

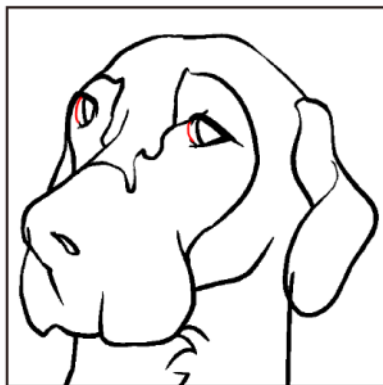
## 範囲選択

範囲選択ツールは、設定に応じて選択方法を変えられます。範囲選択作業の手間を省くことで、作業時間を短縮できます。

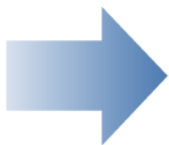
### 複数参照

[矩形選択]・[折れ線選択]・[投げなわ選択]・[マジックワンド]ツールを使用時に、各[ツールオプション]の[複数参照]で、参照するレイヤーを設定できます。

参照レイヤーと画像レイヤーで描画した画像に選択範囲を作成した例です。ここでは、選択範囲部分に色をつけています。



黒：参照レイヤー / 赤：画像レイヤー



[参照レイヤーを参照] の場合



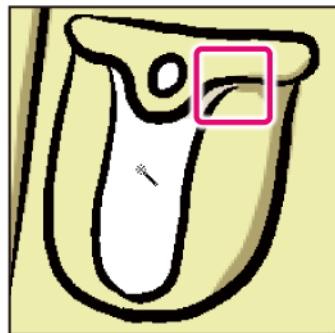
[すべてのレイヤーを参照] の場合



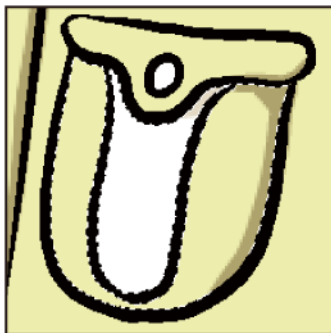
[矩形選択]・[投げなわ選択]・[折れ線選択]ツールでは、[シュリンク]で[シュリンクなし]以外に設定されている場合、[複数参照]を設定できます。

### 隙間を閉じる

選択したい部分に隙間がある場合、通常は選択範囲が意図したとおり作成できませんが、[マジックワンド]ツールで[ツールオプション]の[隙間を閉じる]をオンにすると、隙間を閉じた状態で選択範囲を作成できます。



隙間がある部分を選択



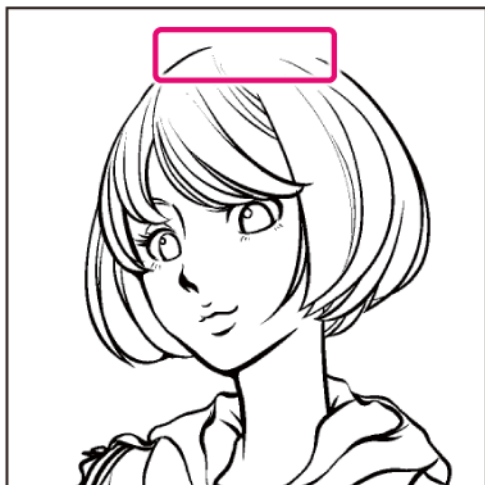
[隙間を閉じる]：オフの場合



[隙間を閉じる]：オンの場合

## クイックマスク

「クイックマスク」は、描画ツールで描画するように選択範囲を作成できます。[ 隙間を閉じる ] を使用しても選択範囲がうまく作成できない場合や、細かい選択範囲などに使用すると便利です。次のような画像に選択範囲を作成できます。



線の空いた部分にクイックマスク上で線を書き加えます (図 1)。選択範囲にしたい部分を塗りつぶします (図 2)。塗りつぶした部分を選択範囲に変換します (図 3)。

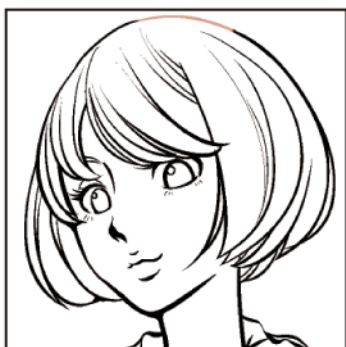


図 1

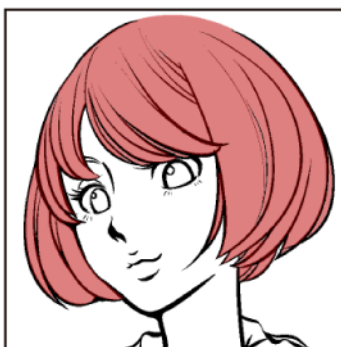


図 2

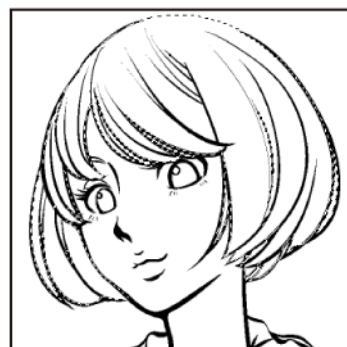
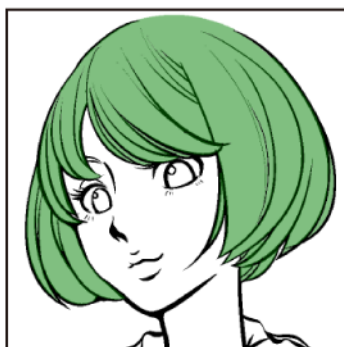
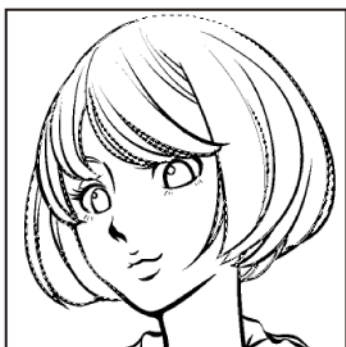


図 3

## 選択範囲レイヤー

作成した選択範囲は「選択範囲レイヤー」に変換して保存できます。選択範囲レイヤーを作成しておくで、再度同じ選択範囲を作成できます。





## 定規

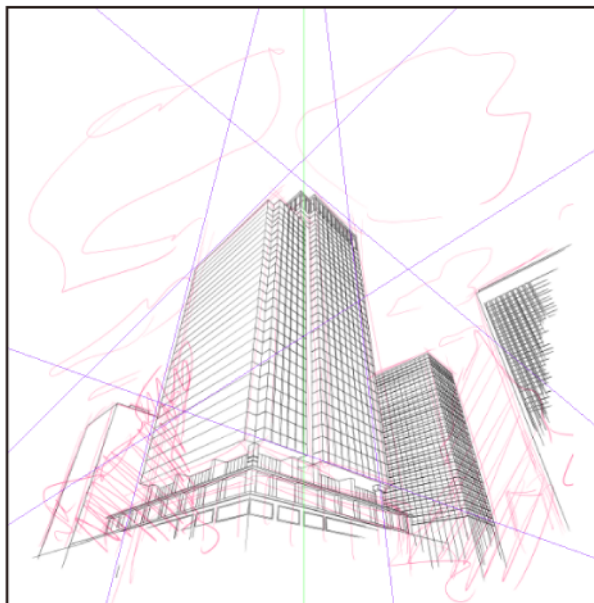
定規を作成し、ペンなどの描画ツールで描画すると、自動的に定規に沿ってスナップし、簡単に複雑な形を描画できます。

### 定規の種類

ここでは、[定規]メニューから作成する、主な定規を紹介します。

#### パース定規

パース定規とは、簡単にパースを作成できる定規です。1点透視・2点透視・3点透視の3種類があります。



パース定規（3点透視）使用

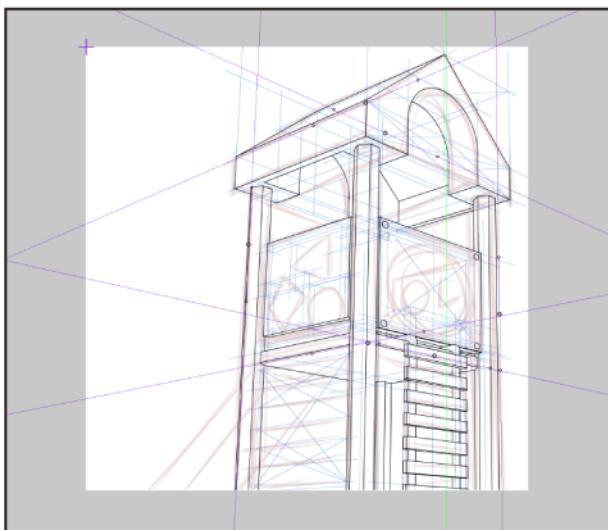


完成したイラスト

#### 図形系ツールのパース定規へのスナップ

[図形]・[直線]・[曲線]・[折れ線]・[折れ線選択]ツールなどの図形系ツールを使用すると、パース定規にスナップした状態で図形を描画できます。

[図形]ツールを使用すると、[ペン]ツールで描く場合よりも確実に方向や終点を決められます。また、遠近感のある円盤や円柱を正確に描けます。



パース定規に[図形]ツールを使用した描画例



完成したイラスト



ドラッグすると、消失点のうちの 2 つを使って作成された図形が表示されます (図 1)。ドラッグする方法が同じでも、使う消失点が異なれば、図形の形状が変わります (図 2)。ドラッグ後にマウスを動かすと作成可能な図形の候補が切り替わり、もう一回マウスをクリックすると図形が確定します (図 3)。

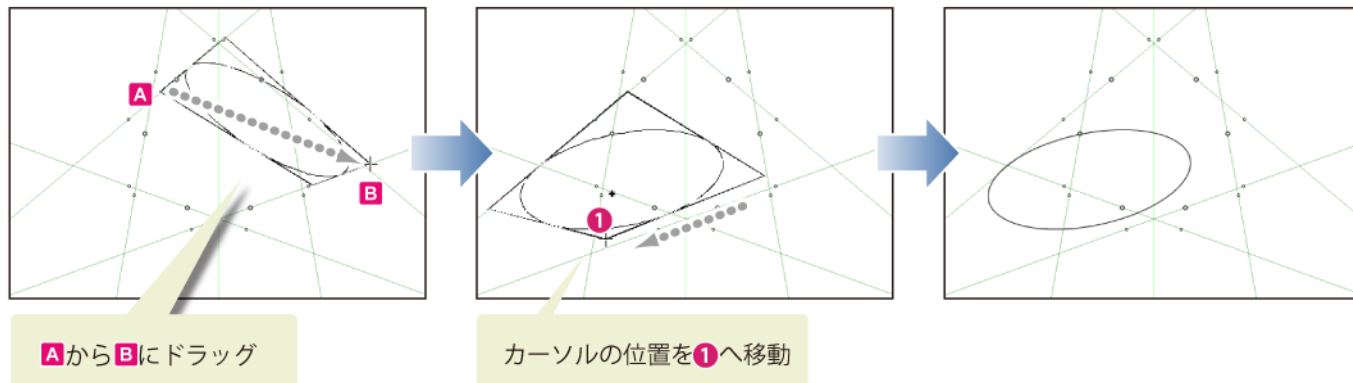


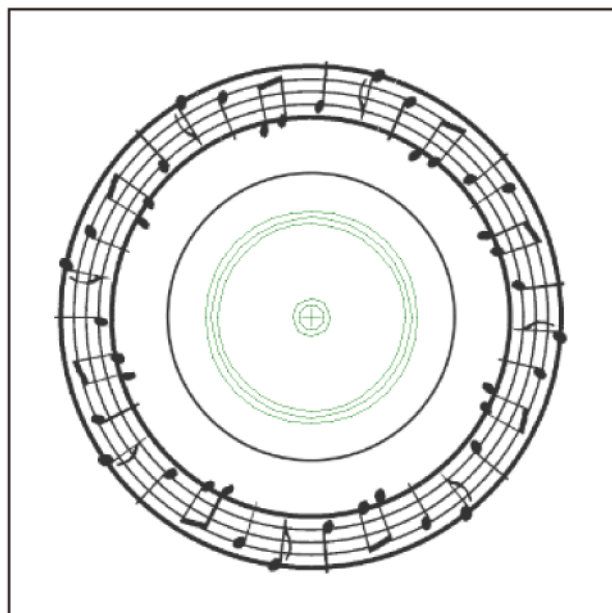
図 1

図 2

図 3

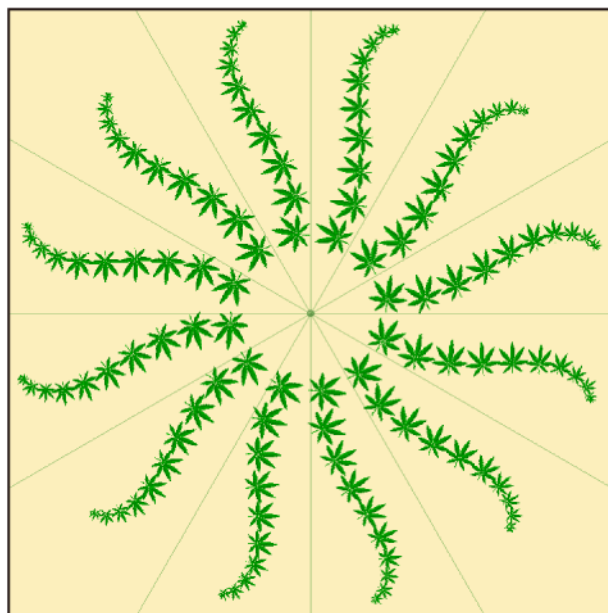
### その他の定規

パース定規のほかにも、次のような定規があります。対称定規は 12 点だけでなく、線対称、二軸線対称などがあります。



同心円定規

円形に沿った線を描画できます。



対称定規 (12 点対称定規)

定規を軸に、12 点対称な位置に同時に描画できます。

## 塗りつぶし

広い領域をまとめて塗りつぶしたい場合に使用するツールを紹介します。設定次第で細かい部分の処理を変更できます。

### 塗りつぶしツール

[塗りつぶし] ツールとは、線で閉じられた領域を、クリックするだけで塗りつぶします。



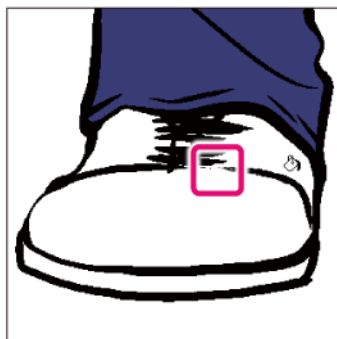
[塗りつぶし] ツール

### ツールオプション

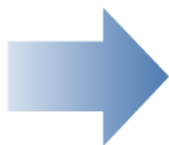
[ツールオプション] で設定すると、塗りつぶす方法をカスタマイズできます。

#### 隙間を閉じる

塗りつぶしたい部分に隙間がある場合、[塗りつぶし] ツールで塗りつぶすと、色のはみだします。[隙間を閉じる] をオンにすると、隙間を閉じた状態で塗りつぶせます。



隙間がある部分を塗りつぶし



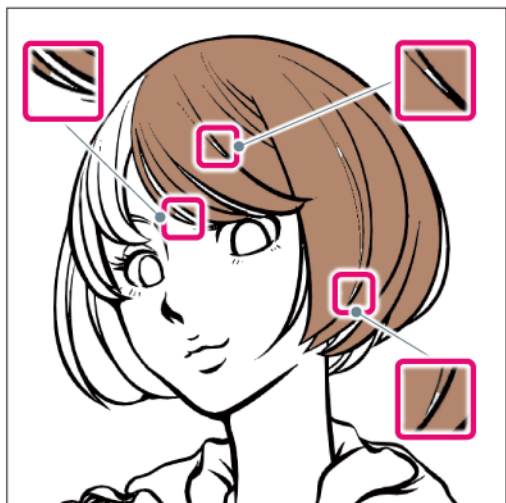
[隙間を閉じる]：オフの場合



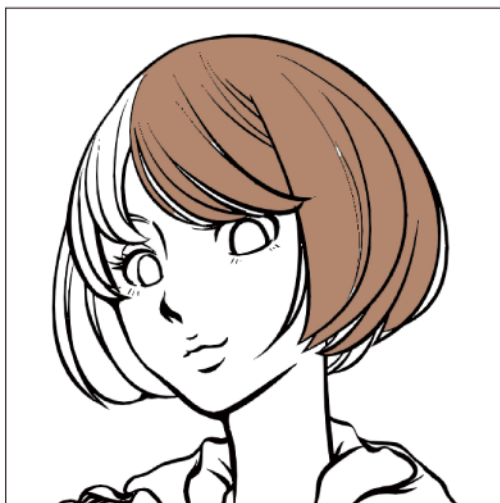
[隙間を閉じる]：オンの場合

#### 細い領域にしみこむ

[隙間を閉じる] をオンにして塗りつぶすと、細い部分が塗りつぶせない場合があります。[細い領域にしみこむ] をオンにすると、細い部分も塗りつぶせます。



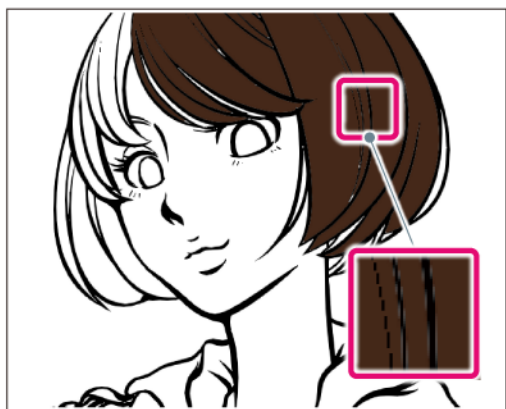
[細い領域にしみこむ]：オフの場合



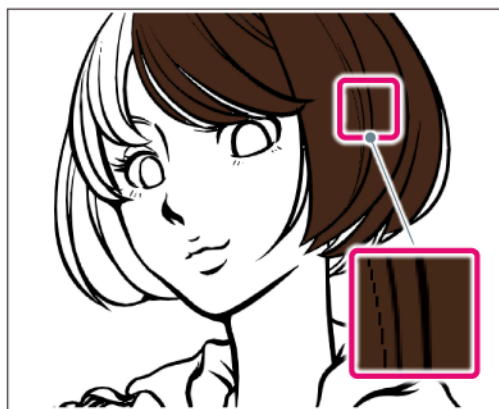
[細い領域にしみこむ]：オンの場合

### 領域を拡張・最も濃いピクセルまで拡張

アンチエイリアスやぼけ足がついた線に [塗りつぶし] ツールを使用すると、線の周囲がきれいに塗りつぶせない場合があります。[領域を拡張] で塗りつぶす領域を拡張し、[最も濃いピクセルまで拡張] をオンにすると、線の最も濃い部分を認識して塗り止まります。領域を拡張しても線からはみださずに塗りつぶせます。



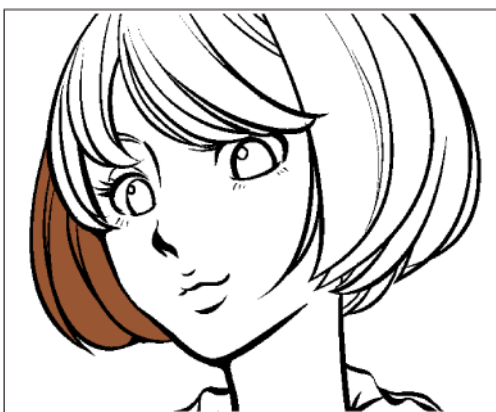
[領域を拡張]・[最も濃いピクセルまで拡張]: オフの場合



[領域を拡張]・[最も濃いピクセルまで拡張]: オンの場合

### ドラッグで同じ色を塗りつぶす

線で区切られている領域を同じ色に塗りつぶすには、[ドラッグで同じ色を塗りつぶす] をオンにします。領域ごとにクリックしなくても、塗りつぶしたい部分をドラッグするだけで塗りつぶせます。



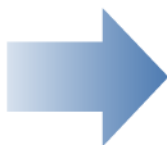
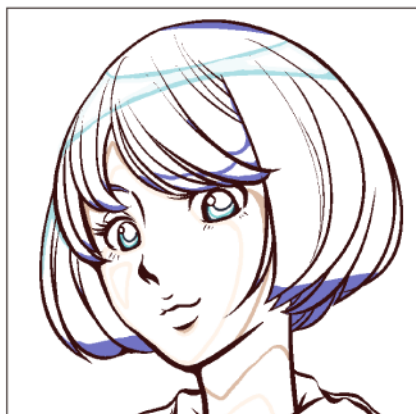
## 等高線塗りツール

[等高線塗り] ツールは 2 色の線に挟まれた領域に、グラデーションを作成するツールです。



[等高線塗り] ツール

次のように線で色を指定すると、色と色の間にグラデーションを作成して塗りつぶせます。



## フィルタレイヤー

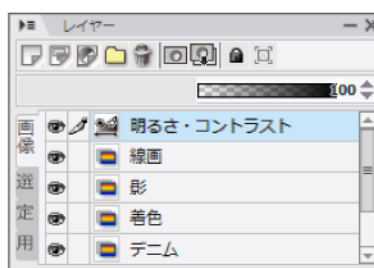
イラストにフィルタ効果をつけるレイヤーです。画像のレイヤーに直接フィルタをかけないため、元の画像を維持したまま、効果をつけられます。

### フィルタレイヤー

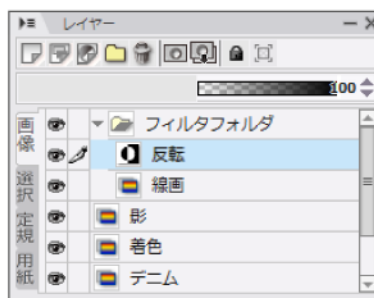
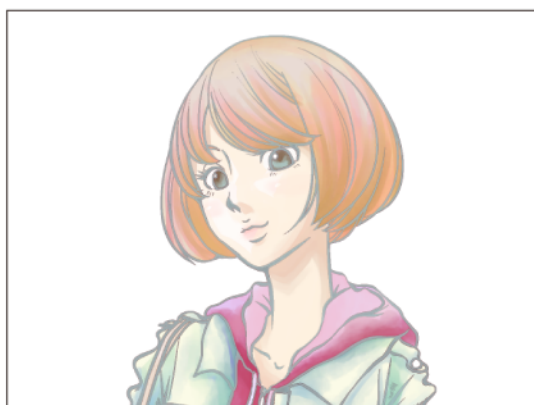
フィルタレイヤーは、[レベル補正]・[トーンカーブ]・[質感]などのフィルタを、イラストに適用するレイヤーです。[レイヤー]パレットの[新規フィルタレイヤー作成]から作成できます。フィルタレイヤーの配置次第で、フィルタの効果を適用するレイヤーが変わります。



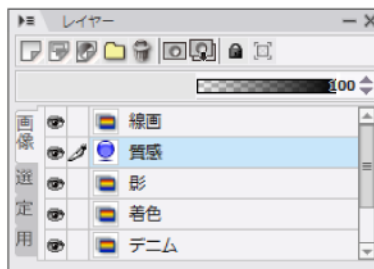
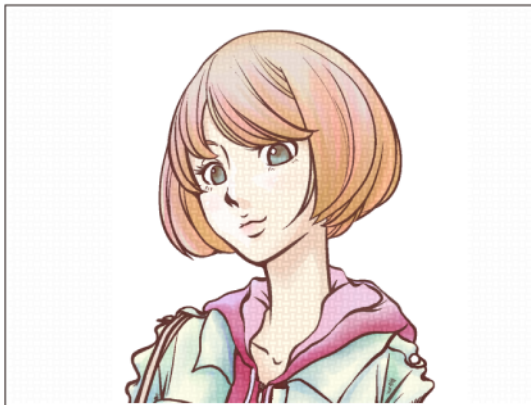
元画像



イラスト全体に[明るさ・コントラスト]のフィルタレイヤーを適用。



レイヤーフォルダを作成し、線画レイヤーだけに[反転]のフィルタレイヤーを適用。



「影」レイヤー以下のレイヤーに [質感] のフィルタレイヤーを適用。

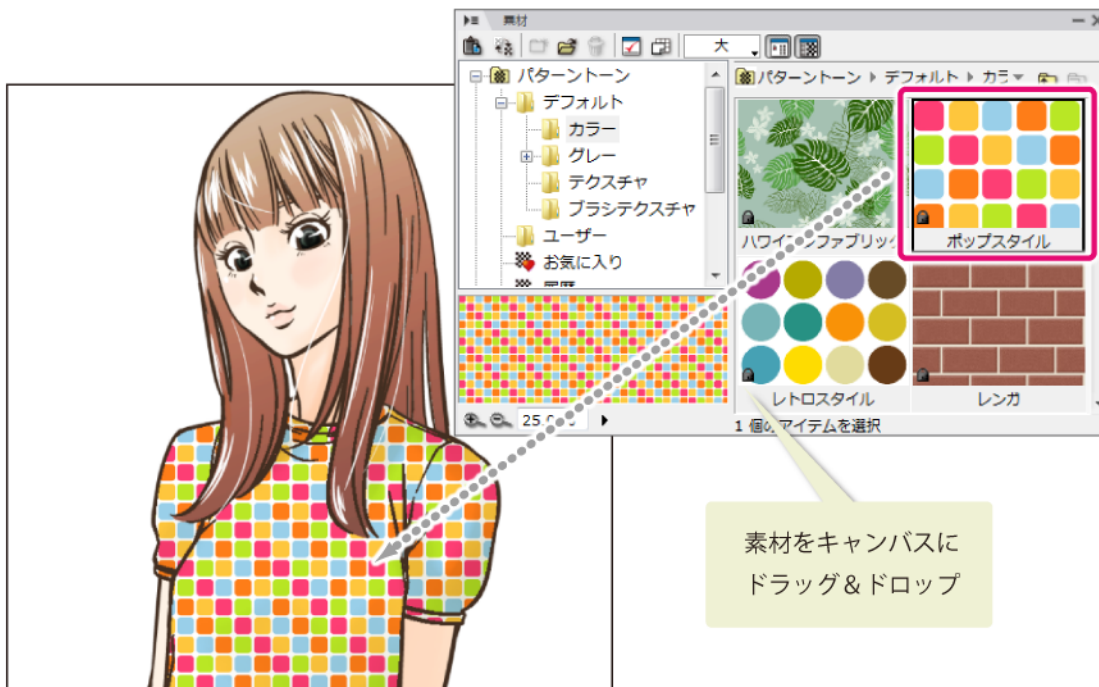
[質感] では [画用紙] や [格子] などの質感を選択できます。

## 素材

[素材] パレットは、イラスト作成に使用するさまざまな素材を登録・管理できます。

### パターントーン

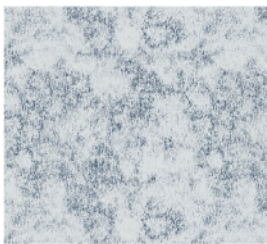
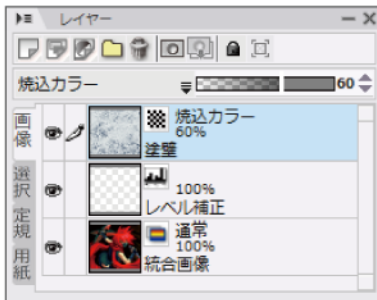
パターントーンは、[パレット] メニュー→[素材] を選択して表示される [素材] パレットから [パターントーン] を選択すると表示されます。パターントーンは、[素材] パレットからパターントーンをドラッグ&ドロップして貼り込みます。





## パターントーンレイヤーの合成モード

他のレイヤーとパターントーンレイヤーを合成できます。パターントーンを設定して、合成モードのリストから設定したい効果を選択します。



パターントーン「塗壁」

元画像



合成モード：焼き込みカラー  
不透明度：60%

パターントーンの合成モードを[オーバーレイ]や[乗算]、[焼き込みカラー]などに設定して、テクスチャのように合成することもできます。

上図の例では、パターントーン「塗壁」を合成モード[焼き込みカラー]で合成し、ザラザラした質感を加えています。

## 色の選択

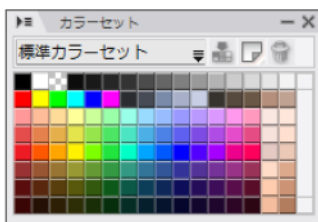
色の選択方法には、設定画面から色を選択するだけでなく、よく使用する色の登録や他の画像を参考に選択するなどの便利な機能があります。

### カラー系パレット

色の設定や選択をするためのパレットです。これらのパレットは、[パレット]メニューから表示できます。

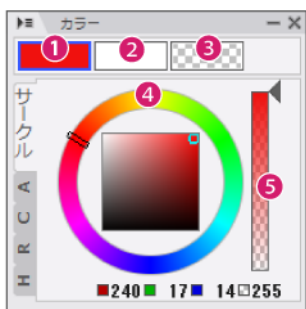
#### カラーセットパレット

標準的な色の一覧を表示するパレットです。一覧から色を選択します。よく使用する色の登録や、よく使用する色だけを集めた色の一覧を「カラーセット」として作成、登録できます。



#### カラーパレット

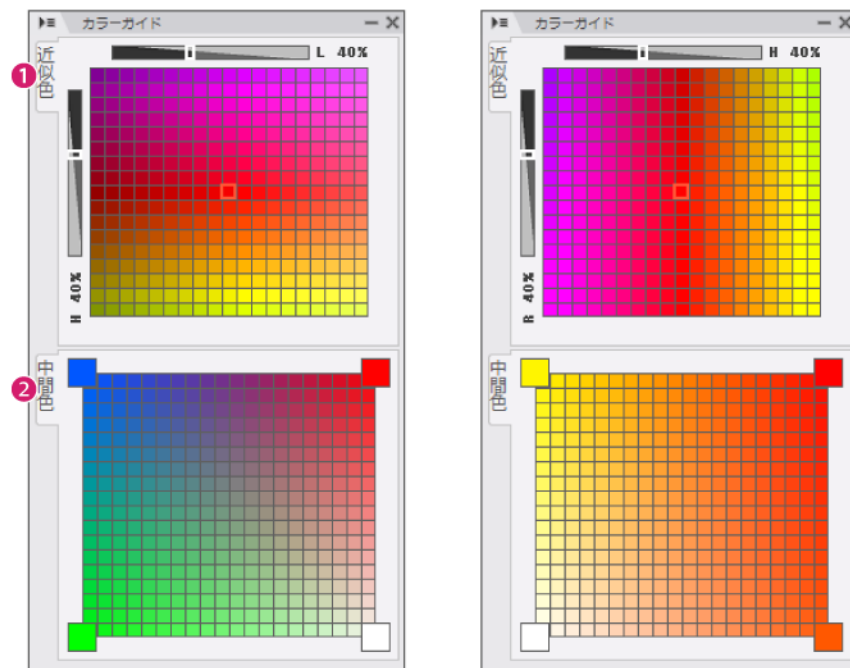
[メインカラー]・[サブカラー]・[透明色]を設定します。色相を[カラーサークル]のリングで調整し、明度（または輝度）・彩度を[色空間]で調整します。



- ① **メインカラー**  
主に使う色をセットします。
- ② **サブカラー**  
メインカラーの次に使う色をセットします。
- ③ **透明色**  
透明色を選択するときには使用します。
- ④ **カラーサークル**  
[HSV 色空間]の場合は、色相・明度・彩度、[HLS 色空間]の場合は、色相・輝度・彩度を調整します。
- ⑤ **不透明度**  
描画色の不透明度を設定します。スライダーで設定を変更できます。

## カラーガイドパレット

[カラーガイド]パレットには、[近似色]リブと[中間色]リブがあります。それぞれのカラータイルから、色を選択できます。カラータイルは、設定次第で色を切り替えられます。



### ① 近似色

[近似色]リブは、[カラー]パレットのメインカラーをもとに、[色相]・[彩度]・[明度]・[輝度]・[透明度]などの基準に応じた色を、中央のカラータイルに表示します。もともとなる色はカラータイルの中心に表示され、スライダー横の数字をクリックすると、色の基準を変更できます。

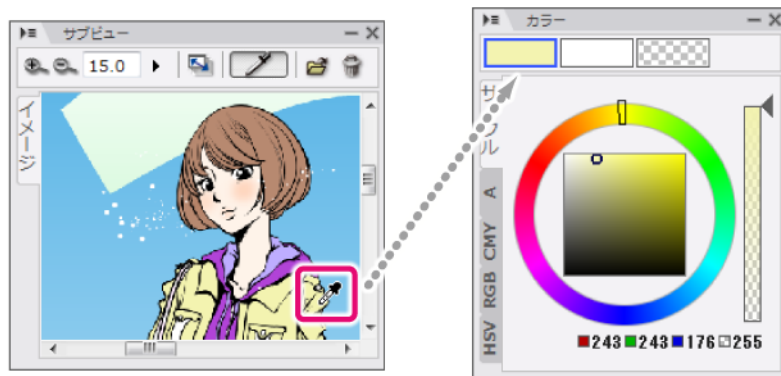
### ② 中間色

[中間色]リブは、4つの隅に設定した色の中間色を作成します。

## サブビューパレット

[サブビュー]パレットは、他の画像ファイルをパレット上に読み込み、描画色を選択できます。[自動でスポイトに切り替え]をオンにすると、他のツールを選択時でも、[サブビュー]パレット上では[スポイト]ツールに切り替わります。

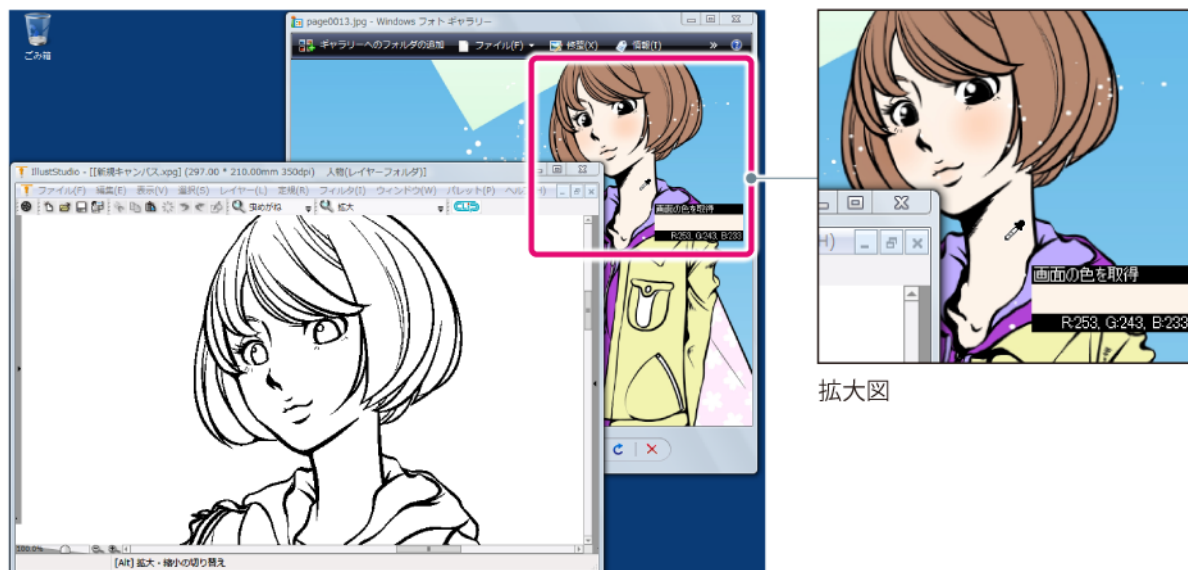
[サブビュー]パレットは、[パレット]メニュー→[サブビュー]の順に選択すると表示できます。





## 画面の色を取得

デスクトップ全体を対象に、色を取得できます。[編集]メニュー→[画面の色を取得]または[最小化して画面の色を取得]を選択し、マウスカーソルがスポイトに切り替わったら、色を取得します。[最小化して画面の色を取得]を選択すると、一時的に IllustStudio が最小化します。

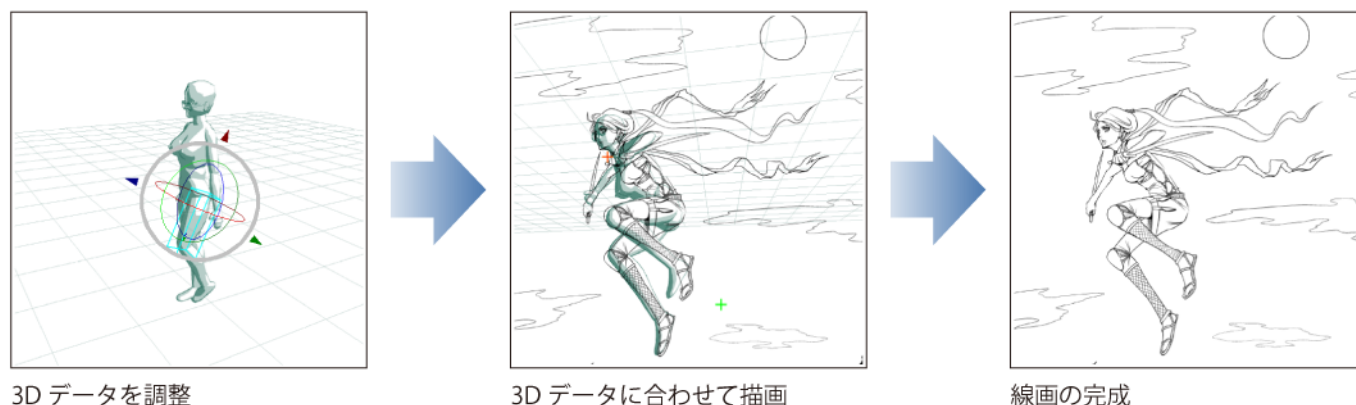


## 3D 下描き機能

3D データを読み込み、下絵として使用できます。3D データは、角度や大きさなどを自由に変更できるので、描きたいアングルに合わせて使用できます。

### 3D 下描き機能

[ファイル]メニュー→[読み込み]→[3D ファイル]で、3D データを読み込み、角度やポーズを設定します。上に描画用のレイヤーを作成し、3D データに合わせて線画を描画します。

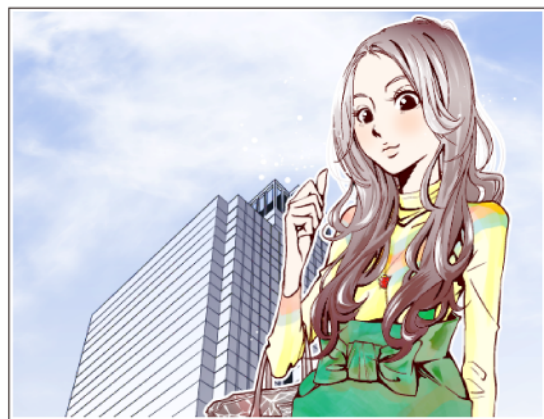


## CMYK 対応

カラー印刷で使用する CMYK モードの表示や出力ができます。印刷を前提にしたイラストの作成に便利です。

### CMYK カラー表示

[表示] メニュー→[CMYK カラー]→[CMYK カラー表示] で、CMYK モードの表示に切り替えられます。



RGB 表示 (通常)



CMYK 表示



CMYK モードで出力する場合は、Photoshop 形式または TIFF 形式を選択し、[色深度] を [CMYK カラー] に設定してください。

## 動画キャプチャ機能

作業の工程をムービーファイルに録画できます。

### キャプチャ

[ファイル] メニュー→[キャプチャ]→[開始] で、キャンバスにイラストを描く工程をムービーファイルに録画できます。録画したムービーファイルは、プレイヤーで再生したり、WEB ページにアップしたりできます。



# サービスとサポートの ご案内

製品のご使用時に困ったことがある場合、最新の製品情報やサポート情報の公開のほか、お問い合わせ窓口をご用意しています。

## お問い合わせの前に

弊社ではお客様に、WEB ページなどで最新の製品情報やサポート情報などを提供しております。サポート窓口までお問い合わせいただく前にご確認ください。

### **IllustStudio.net**

IllustStudio に関するさまざまな最新情報が公開されているホームページです。製品情報、アップデートのダウンロードサービス、取扱店舗情報などが、随時更新されています。

最新のアップデートをダウンロードのうえ、インストールしていただくと、問題が解決する場合がございます。また、製品の仕様などもこちらでご確認いただけます。

#### **IllustStudio.net**

URL : <http://www.illuststudio.net/>

### **CLIP 「学ぶ」**

IllustStudio の使い方や、人気絵師の制作テクニックを講座形式で学べます。

URL : [http://www.clip-studio.com/clip\\_site/howto/howto\\_top/](http://www.clip-studio.com/clip_site/howto/howto_top/)

#### **描きはじめまでナビ**

グラフィックソフトやペンタブレットを使って、実際に描き始めるまでの段取りをわかりやすく解説します。パソコンでイラストを描くのが初めての方でも安心して作品づくりをスタートできます。

#### **IllustStudio 講座**

IllustStudio の便利な機能の使い方や効果的な描き方をわかりやすく解説します。

### **IllustStudio サポート情報**

製品の出荷後に確認された問題やサポートセンターに多く寄せられた質問について、サポート情報を公開しております。サポート窓口にお問い合わせいただく前にご確認ください。

#### **IllustStudio サポート情報ページ**

URL : <http://www.illuststudio.net/support/>

## 製品に関するお問い合わせ

弊社ではお客様向けにオンラインによるサポート窓口を開設しております。ご不明な点などありましたら、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

### お問い合わせ前のご確認

お問い合わせの前に、必ず『お問い合わせの前に』を参照のうえ、各項目をご確認ください。

#### お客様の使用環境

お客様の使用環境をご用意ください。※印の項目については、設定を変更している場合、必要となります。

製品のバージョン	【例】IllustStudio 1.2.0
お使いのコンピュータの OS とバージョン	【例】Windows Vista Home Premium SP1 (32bit)
IllustStudio がインストールされているフォルダ (※)	【例】C:\Program Files\CELSYS\IllustStudio
IllustStudio のメモリ割り当てサイズ (※)	【例】1 GB
タブレットの種類とドライバのバージョン	【例】WACOM XXXXXX ドライババージョン：6.1.5-3

#### 問題点について

問題点の発生状況をご確認ください。

問題が発生するデータの特徴	どんなデータを使って作業をしていたか、データに特徴があればお知らせください。
問題が発生した箇所とその状況	① 問題が発生するときにどのような操作を行ったのか。 ② 操作を行った結果、どのような状態になったのか。ダイアログが表示される場合は、その内容も併せてお知らせください。 ③ 引き続き、どのような操作を行ったのか。
問題が発生する頻度	必ず発生する／よく発生する／たまに発生する／2度と発生しなかった

### お問い合わせ窓口

#### PC をご利用の場合

下記の URL にアクセスし、WEB フォームからお問い合わせください。

URL : <https://www2.celsys.co.jp/support/contact/>

#### 携帯電話をご利用の場合

携帯電話で 2 次元コードを読み取ってお問い合わせ内容を送信いただくか、下記メールアドレスまでご連絡ください。



e-mail : [tech@celsys.co.jp](mailto:tech@celsys.co.jp)



メールの受信拒否設定がされていると、回答をお届けできない場合があります。メール設定にご注意ください。

## IllustStudio Startup Guide

## IllustStudio Startup Guide

Copyright© CELSYS,Inc. All Rights Reserved.



IllustStudio.net  
<http://www.illuststudio.net/>

2010 年 12 月 第 8 版発行

2009 年 4 月 初版発行

発行者・発行所 株式会社セルシス